

高文連

第14号

山口県高等学校文化連盟

もくじ

あいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第24回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	14
(音楽関係4部門)	
器楽・管弦楽部門	18
合唱部門	19
吹奏楽部門	20
マーチングバンド・バトントワリング部門	21
日本音楽・吟詠剣詩舞部門	22
展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	23
囲碁部門	27
演劇部門	28
放送部門	29
将棋部門	30
第26回全国高等学校総合文化祭の記録	31
器楽・管弦楽部門	33
合唱部門	34
吹奏楽部門	35
マーチングバンド・バトントワリング部門	36
日本音楽部門	37
美術・工芸部門	38
書道部門	39
写真部門	40
囲碁部門	41
演劇部門	42
放送部門	43
将棋部門	45
自主事業	46

参考資料

平成14年度山口県高等学校文化連盟<事業報告・会計決算書>	51
平成15年度山口県高等学校文化連盟<事業計画・会計予算書>	53
山口県高等学校文化連盟規約・諸規定(会計、事務局、表彰、旅費支給基準)	55
平成14・15年度山口県高等学校文化連盟役員一覧	60
全国高文連の歌	62

高文遠

第 14 号



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 山賀正彦

高校生の文化・芸術の祭典である第24回山口県高等学校総合文化祭は、平成14年6月13日「輝け青春のオーロラ 無限の力を今！」をテーマに掲げ、下関市で行われた総合開会式を皮切りに、県内各地において、各部門の発表会等が沢山の高校生や地域の方々の参加を得て盛大に開催され、多くの成果をあげることができました。

また、神奈川県で開催された第26回全国高等学校総合文化祭では各部門から延べ39校、224名が参加しました。神奈川県の高校生の温かい歓迎と高校生主体の運営が行われる中、参加者は各部門で活躍しました。演劇部門においては、昨年の華陵高等学校舞台芸術部に続き、今年も岩国総合高等学校演劇部が優秀賞・文化庁長官賞を受賞し、国立劇場で開催された全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演（4校）に出演という栄誉に輝きました。2年連続の東京公演出演に本県の演劇のレベルの高さを改めて認識するとともに、たいへん嬉しく感動的なものでした。

今年度は中国大会2部門、文芸道場及び演劇発表会が本県で開催されました。文芸道場中国大会は全国高文連並びに文化庁主催の大会で、本県高文連には専門部はありませんが、山口高等学校主管で盛大に開催されました。大会運営等で県内各校の文芸部関係者の連携・結束が盛り上がった今、県高文連への文芸専門部の新設が待たれるところです。一方、中国高等学校演劇発表会は来年度の全国総文祭福井大会への選考会でもあり、中国地区1校の出演枠を目指して熱演が繰り広げられましたが、惜しくも出演枠を逃したことは残念です。

これらの大会等に参加した感性豊かな高校生にとって、創造・感動・喜びそして交流の輪の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産が得られたものと思います。

さらに、県高文連では高校生に本物の文化・芸術を鑑賞する機会を作り、文化・芸術に対する興味や関心を高めることを目的に自主事業を企画しておりますが、今年度は11公演を県内各校で開催し、好評のうちに終えることができました。

国では一昨年12月「文化芸術振興基本法」が制定され、昨年12月には「文化芸術の振興に関する基本的な方針」を閣議決定し、文化芸術に関する国の施策の方向が示されました。平成18年度には「第21回国民文化祭」の本県開催が決まっており、準備が進められております。このような中で、将来の文化・芸術の担い手である高校生を擁する県高文連の果たす役割も大きいものがあると思います。県高文連への一層の御支援・御協力をお願ひいたします。

終わりに、この一年間終始温かい御指導を賜りました県教育委員会に、深甚なる謝意を表しますとともに、県高文連の諸活動に御支援・御協力をいただきました各位に、心からお礼申し上げ、発刊のごあいさつといたします。

山口県高等学校文化連盟<各部門の報告>

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田幸生

(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成14年度第24回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

- ・6月13日（木）
- ・曲目「大地讃頌」「ハレルヤ・コーラス」

*指揮／本田留美子

*参加出演／器楽・管弦楽部門 105名

2. 平成14年度第24回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会

*6月14日（金）、15日（土）

*参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

*参加出演／7校 249名

3. 第26回全国高等学校総合文化祭 神奈川大会

*8月11日（日）
厚木市文化会館

*山口県代表／

熊毛南高等学校

*曲目「エスペランサ、タンゴ・ブラジレイロ、11月のある日」

4. 平成14年度山口県高等学校文化連盟

器楽・管弦楽部会

*12月9日（月）

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者8名

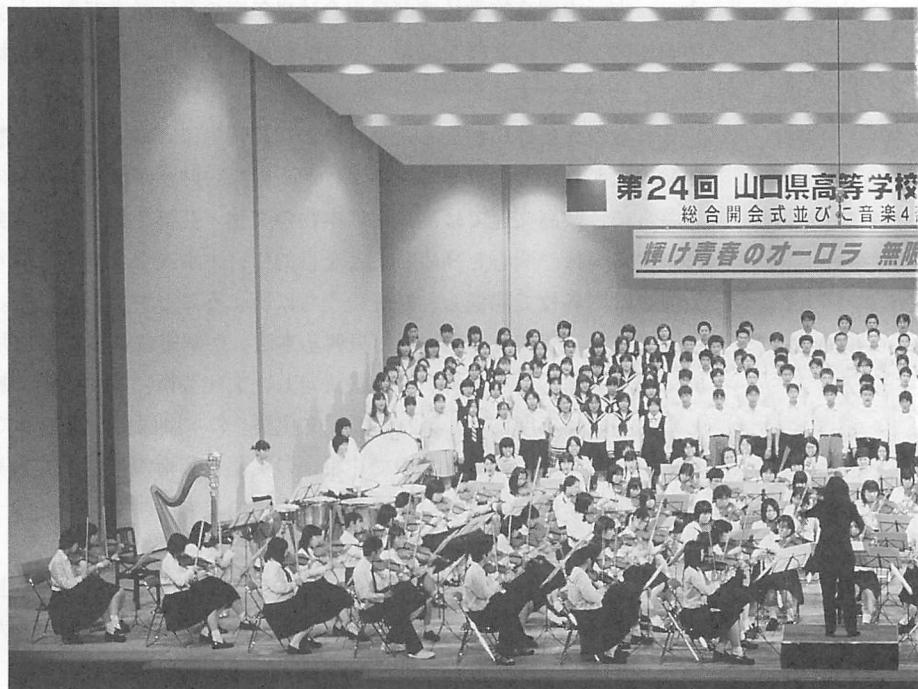
*第22回器楽・管弦楽スプリングコンサート
(山口大会)、県総文、全総文、高文連表彰、役員改選など協議

5. 第22回器楽・管弦楽スプリングコンサート

*平成15年3月27日（木）

山口南総合センター

*参加7校によるギター・マンドリン、管弦樂などの演奏



第24回山口県高等学校総合文化祭総合開会式
(下関市民会館)

合唱部門

理事長 有富 美子

(萩高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会

(開幕式典に備えての講習会)

- ・平成14年5月25日（土）
- ・講師／大志万明子（声楽家）
- ・内容／発声と曲作り
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」” “カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・場所／山口県教育会館大ホール
- ・参加者／9校 155名

発声を中心としたとても分かりやすいご指導をいたたき、日々の練習に早速活用している学校も多いことと思います。今回得たものを基に、

平素の活動がより楽しく充実したものになるよう工夫したいものです。

2. 平成14年度第24回山口県高等学校

総合文化祭 開幕式典において慶祝演奏

- ・6月13日（木）
- ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」” “カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・山口県高等学校合唱団／10校 180名

今年は昨年と同様、オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」としました。日ごろ小人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は貴重な経験となりました。

3. 平成14年度第24回山口県高等学校

総合文化祭 音楽4部門発表会

- ・6月15日（金）、16日（土）・下関市民会館
- ・合唱部門出演者／10校 197名

4. 第25回全国高等学校総合文化祭

- ・8月8日（木）・よこすか芸術劇場
- ・山口県代表／萩高等学校合唱部
- ・曲目／しゅうりりえんえん「みなまた海の声」より VI ゆうきすいぎん（有機水銀）
公害問題を通して生命の尊さを訴えかけました。

5. 平成14年度山口県高等学校文化連盟

合唱部会（研修会）

- ・12月2日（月）萩高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下10名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて



吹奏楽部門

千葉富子 氏著
（岩国商業高等学校教諭）

理事長 藤本博途

（岩国商業高等学校教諭）



平成14年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

総合開会式は、『輝け青春のオーロラ 無限の力を今！』というテーマのもと、下関第一高等学校主管で平成14年6月13日（木）下関市民会館で盛大に開催されました。吹奏楽部門は下関地区高校合同吹奏楽団を編成し、下関西高校の藤田隆行先生指揮のもとで、式典並びに慶祝演奏に参加しました。

〔式典〕 “ファンファーレ” “高文連の歌”

〔慶祝演奏〕 “アルセナール” “春の獵犬”

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式的翌日14日（金）から15日（土）の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が同じく下関市民会館で開催されました。吹奏楽部門には54校1,761名の生徒が参加し、すばらしい演奏を披露してくれました。

3. 全総文神奈川大会

全総文神奈川大会は8月8日（木）、9日（金）神奈川県民ホールで開催され、山口県代表として

下関西高等学校吹奏楽部（藤田隆行先生指揮）が出場されました。イベル作曲、デュポン編曲、交響組曲『寄港地』を演奏披露され、きちんとした音楽作り、美しいアンサンブルは大会出場全校の中でもトップクラスでした。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を12月11日（水）岩国商業高等学校で開催いたしました。県下50名の吹奏楽指導担当者が出席し、本年度事業報告や来年度事業計画、県総文の開催日程、全総文福井大会への参加推薦等の多くの協議事項に対して活発な意見交換がなされました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

部会総会終了後、部会研修会を開催いたしました。全日本吹奏楽コンクールや全日本マーチングフェスティバル等に何度も出場されている東京都立片倉高等学校の馬場正英先生を講師にお迎えし、バンド指導法と題し講演していただきました。大学で心理学を専攻された先生らしく、生徒の心のつかみ方やユニークな部活動の運営法についてお話をいただき、あっという間に時間が過ぎ、大変有意義な会がありました。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 松浦真実

(佐波高等学校教諭)

平成14年度は、昨年に引き続き加盟校が増え、この部門の活動は例年通りに行われました。特に本部門においては、毎年の山口県高等学校総合文化祭を契機に、少しずつ加盟校の輪が広がっていることは、大変喜ばしいことだと思っています。

◎第24回山口県高等学校総合文化祭(下関大会)

*総合開会式

平成14年6月13日(木) 下関市民会館

慶祝演奏は、新たに本部門に加盟された山口県立長府高等学校吹奏楽部、慶進高等学校と三田尻女子高等学校バトントワリング部の3校合同で行われました。

「アメリカの騎士」「ホットドッグ」

*音楽4部門発表会 下関市民会館

平成14年6月14日(金)・15日(土)

マーチングバンドとして山口県立佐波高等学校、山口県鴻城高等学校吹奏楽部、バトン・トワリングには慶進高等学校・三田尻女子高等学校バトントワリング部が出演。

本部門の正規の演奏・演技は、30m×30mという広いフロアで行いますが、毎年限られた舞台において、各校工夫を凝らしたステージドリルを披露し本大会に華をそえています。

◎第26回全国高等学校総合文化祭(神奈川大会)

*パレード部門

平成14年8月7日(水)

みなとみらい横浜市中パレード

山口県鴻城高等学校吹奏楽部の軽快なポップス演奏にのせて、慶進高等学校バトントワリング部・三田尻女子高等学校バトントワリング部による山口県合同チームが登場。

夕刻とはいえ猛暑の折、国内外の高校生のパレードが次々に繰り広げられる様子は見事なものでした。

*マーチングバンド・バトントワリング部門

平成14年8月9日(金)・小田原アリーナ

マーチングバンドとして山口県鴻城高等学校吹奏楽部が「湘南物語～サザン・オールスター・メドレー」というテーマで、開催地になじみのあるヒット曲にのせて、会場いっぱいに親しみやすいマーチングを発表し、好評を得ました。

バトントワリングでは、慶進高等学校と三田尻女子高等学校バトントワリング部による山口県合同チームとして出場しました。

年々レベルアップした内容で、演技の構成・表現ともに、新しい手具の使用等の工夫等もあり、非常に充実したものでした。



日本音楽部門

実 真 振 爵
見事取
の運び、最高の力

理事長 原田江里子
(大嶺高等学校教諭)

平成14年度山口県高文連盟日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 第24回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 慶祝演奏

6月13日（木）下関市民会館にて県立第一高等学校主管のもと盛大に行われた総合開会式では、早鞆高等学校平家太鼓部がパフォーマンスで専門部紹介をしてくれました。その後の慶祝演奏でも勇壮な「柱万歳」の演奏が会場狭しと言わんばかりに響き渡り、郷土芸能として確固たる地位を占めている平家太鼓の素晴らしいさを再確認させてくれたように思います。

2. 第24回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表大会

6月15日（土）アクティブ柳井を会場に県立柳井高等学校主管で、17校115名の参加により開催されました。日本音楽すなわち箏曲部門に14校、吟詠剣詩舞部門に2校、郷土芸能部門に1校の発表となりました。吟詠剣仕舞部門は部門としては休部中ですが、例年この大会に共に

参加しています。

今大会では初めての合同演奏を試みました。各学校代表の生徒たちが、リハーサルもないぶつけ本番の演奏に緊張しながらも、美しい音色を奏でてくれ、会場の歌との調和を生み出してくれました。主管校の準備の大変さは言い尽くせないものがあったかと思いますが、ともすれば自分たちの演奏だけで終わってしまいがちだった大会を、同じ日本音楽を奏でる仲間を再確認する出会いの場にしてくれたのではないでしょうか。

3. 第26回全国高等学校総合文化祭

神奈川大会

8月9日（金）10日（土）、日本音楽部門は秦野市総合体育館で参加団体55、参加校96校で行われました。県立柳井高等学校が県代表として「夜の円舞曲」を演奏しました。全国大会はコンクール的要素が強く、出場校のレベルも非常に高いようです。全国ならではのレベルの高い演奏に触ることは大変貴重な経験もあり、充実したものになったようです。



美術・工芸部門

理事長 平田博英
(岩国工業高等学校教諭)

昨年度から、美術部生徒を対象に、研修の一環として実施した「美術部合同展覧会」は、今年度の実施後、早くも暗礁に乗り上げてしまっています。小品を対象とした展覧会は、制作する生徒への負担がないようにとの方針で、そして県内の美術部から多数の作品を期待し、十分なスペースの確保という視点で組まれたものでした。01年は、下関地区での美術部合同作品展に便乗する形で行い、案内が十分にできなかつたこと、など、多くの問題を抱えたまま、船出をしてしまいました。02年はそういった反省点から、制作の期間も考慮し案内をだしましたが、その反応もほとんどなく、今年度も負担をおかけした下関地区だけでの、美術部合同展覧会となってしまいました。理想を言えば、県内を6地区に分け、県高総文祭同様、年度毎に巡回していくことが望ましいと思いますが、次年度の開催地区もまだ未定のまま、棚上げにした状態です。

こういった小品を対象にした合同作品展を続けていくことを含め、県全域の美術部生徒を対象とした研修のあり方について、美術部顧問間での話し合いが必要なのですが、その母体となる美術・工芸部顧問連絡協議会への参加状況が頭を抱えてしまうほど寂しい状況です。旅費の問題等、各校参加が難しい状況にあるようですが、高文連の土台は、各校専門部顧問の取り組みに掛かっています。この点については、昨年度もこの報告の中で述べましたが、現

実問題として、どのようにすれば美術・工芸部顧問の参加が増えるものなのか、正直なところ、具体的な対策が見つかりません。

このような各専門部顧問会は、運動部だったらどうなのでしょうか。運動部顧問の意識は同様に薄いものなのでしょうか。それぞれがみな各専門部のスペシャリストという訳ではないと思われますし、実際に全くの门外漢と自認する顧問も多く見かけてはいますが、とても薄弱な意識で部活動を運営しているとは思えません。意識の持ち方がまるで違います。同様な意識を、美術・工芸部顧問にも持てないものなのでしょうか。

さて、報告と言うよりは、感想をだらだらと書き連ねてしまいましたが、美術・工芸部の抱えている問題は随分と根の深いものだと思います。少しでも掘り起こせるよう、今後も、微力ながら頑張っていきたいと思います。

その他、平成14年度美術・工芸部門の活動は、例年どおりといったところです。詳細については、それぞれ関連の報告を参考にしてください。



書道部門

英 剣 田 平 フ カネ
山口県高等学校文化連盟書道部会

理事長 有富由美
(防府高等学校教諭)

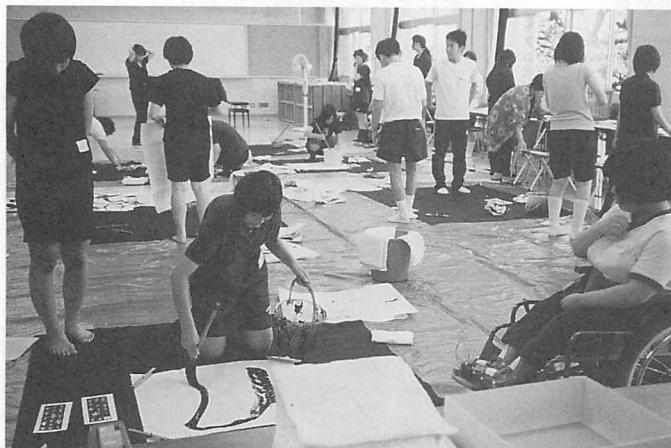
平成14年度山口県高等学校文化連盟書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

下関市民会館の立派な展示室に、下関地区7校からの作品を展示しました。主管の下関第一高校を始めとして下関地区的先生方、生徒の皆さんのお陰で、中味の濃い展示になりました。

2. 第4回高文連書道部生徒研修 7/28(日)

今年も防府高校で、県内9校から26名の書道部員が集まり研修会を行いました。内容は、午前中に特大筆を使っての一字大書創作、午後からは、種田山頭火の句をそれぞれが創作し、共同作品としてまとめました。とかく他校との交流が難しい書道部会で、お互いに協力し合って作品を仕上げていくこの研修会は、個々の学校での部活動だけでは体験できない貴重な時間であると思っています。せっかくの良い活動をその場限りにしない為、今年は山頭火の句を四季に分け、4曲の屏風に貼り合わせて共同作品として仕上げました。この作品を県総文祭に出品



したところ、大変好評を得たので、この企画は来年もぜひ引き継ぎたいと考えています。

3. 全国高等学校総合文化祭<神奈川大会>

8/7~8/10

本年度の全総文祭は、神奈川県横浜市で開催されました。開会式、作品展、講評会、交流会と例年通りの流れでした。山口県からは、萩商業、高水、下関商業、早鞆の4校が代表として出品しましたが、どれもしっかりと書き込まれ、落ち着いた書線の中にもみなぎるエネルギーを感じられる好感の持てる作品であったと思います。それぞれ出品した生徒さんの感想を、後の全総文祭の記録にて紹介していますが、全国展の作品に圧倒され、交流会での全国の高校生との交流等、皆意義深くすばらしい経験であったこと思います。

4. 山口県教員書作展 8/13~8/18

本年度は、下関西高校の河合先生の担当で、下関市立美術館を会場に開催されました。出品者32名、出品点数55点と、広い会場に所狭しと

大作の数々が展示され、大変見ごたえのある書作展となりました。河合先生始め下関地区的先生方には、6日間という長期にわたりお骨折りいただき、深く感謝すると共に、我々の貴重な研鑽の場であるこの教員展が、ますます発展していくことを祈ります。

5. 山口県高等学校総合文化祭

展示部門発表会

第24回県総文祭の記録に掲載しています。

写真部門

理事長 佃 幸憲

(光高等学校教諭)

平成14年度山口県高文連写真部門の活動状況を報告いたします。

1. 第24回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式（下関市にて）慶祝展示

今年度は、平成14年6月13日（木）に下関市民会館にて総合開会式が行われました。1階展示ホールに以下の作品を含む約30点を慶祝展示として、13日午後から15日まで展示しました。

下松工業高校 中茂 貴博 作

「竹林」（単・モノクロ）

徳山高校 溪 英俊 作

「スタート」（単・カラー）

中野由香里・草刈菜穂美 合作

「重圧」（単・モノクロ）

宇部工業高校 越智 亮 作

「Teenage Lunch」（単・モノクロ）

波木 聰史 作

「こっちむいて！」（単・モノクロ）

美祢工業高校 小倉 和也 作

「勝利への執念」（単・モノクロ）

下関第一高校 古川 哲也・狩俣 博光・

磯永 拓矢 合作

「母校を胸に」（組・カラー）

宇部鴻城高校 佐藤 純 作

「めまい」（単・モノクロ）

以上の優秀作品に加え、下関地区の高校より協賛出品が多数ありました。

2. 第26回全国高等学校総合文化祭

神奈川大会 写真部門

今年度は、平成14年8月7日（水）から10日（土）まで川崎市中原区あります、かながわサインスパーク3階ギャラリーホールにて、写

真部門の展示が行われました。最優秀賞には、秋田県、千葉県、東京都の高校生の作品が入賞しました。また、今年度の理事会では来年度の福井大会に向けて、デジタル写真の出品についての協議を中心に行いました。その結果、当面銀塩・デジタル作品とも同等に扱いデジタル作品も優秀であれば上位入賞もありうるという考え方で進めることになりました。今年度はその応募状況を把握し、方向性をさぐる年度となりそうです。審査基準についても今までとは多少異なった部分も出てくると思われます。福井大会での講評会で、その方向性が明示されると思います。

3. 第24回山口県高等学校総合文化祭

展示部門（岩国大会）

本誌の山口県高等学校総合文化祭展示部門岩国大会の記録に掲載しておりますので、そちらをご覧下さい。

4. 年1回の写真部会主催撮影研修会

および作品コンクール

今年度の県総文展示部門岩国大会の最終日の11月17日（日）の午前中に、岩国市の錦帯橋周辺にて撮影研修会を行いました。詳細については、本誌の県総文の記録をご参照ください。

5. 年1回の写真部会顧問会議

今年度の顧問会議は、10月11日（金）に理事長在籍の光高校にて行い、11月の県総文主管校の岩国工業高校の長広・佐藤両先生出席のもと審査委員長の決定、最終打ち合わせ、次年度の福井大会に向けての諸協議、次期理事長の決定などを行いました。

囲碁部門

県立 萩高等学校
（萩城跡をめぐる）

理事長 井町頼信
(萩高等学校教諭)

囲碁は頭を若々しくし、頭のボケを防ぐのに大きな効果があります。一瞬のひらめきというより、長い時間かけてこつこつ努力したことがむくいられる点で、きわめて教育的で求道者に向いた遊びです。

囲碁は決まりきった手を打つこともあれば、好むと好まざるとにかかわらず変化をすることもあります。この両者のバランスのとり方が大変つかしく、碁の喜びともなっています。

さて平成14年度の囲碁部門の主な活動は以下の通りです。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

6月13日（木）～15日（土）まで下関市民会館で開催された総文祭に囲碁部門は慶祝展示を行いました。内容は、昨年6月の山口県高校囲碁選手権大会と、福岡県で行われた全国総文祭に於ける囲碁大会と萩高校で行われた山口県大会の対局風景の写真半切3枚を掲げました。

2. 囲碁合宿

平成14年8月4日～6日、萩高校セミナーハウスにおいて、下関西高校、宇部高校、萩高校の3校合同合宿を行い、聖徒17名が参加しました。朝から夕方まで一日中碁を打ちました。



▲3校合同合宿

3. 第24回県高総文祭囲碁部門第14回大会

10月27日（日）に萩高校で開催され78名が参加しました。全国大会の選抜と段級位認定を兼ねて全員が4局の対局を行いました。

この日の結果から、個人戦男子1名、女子1名、団体戦（男女混成）3名の計5名は、平成15年8月11日（月）～12日（火）に福井県で開催される全国高校総文祭に出場します。

4. 県高文連囲碁部門研修会

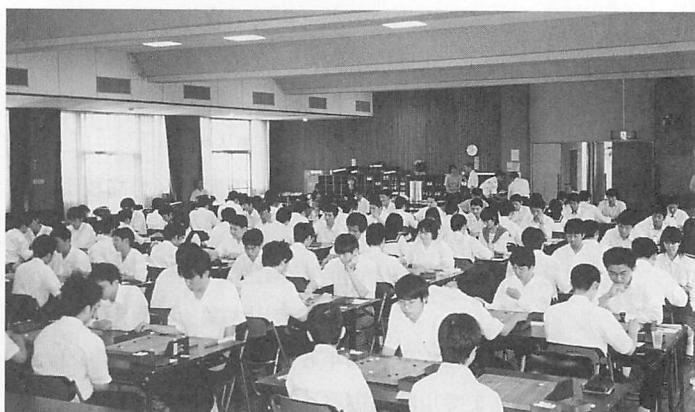
平成15年2月9日（日）山口市で開催されました。渡辺堅一プロによる全国大会出場者及び有段者クラスの者への指導対局を行いました。

今年からは参加者を例年の倍以上に広げ、内容も、きちんと対局カードを使い、教員が組み合わせをやり、ミニ大会のような雰囲気でした

5. 高校囲碁連盟主催の大会への参加

6月に行われた県高校囲碁選手権大会の結果下関西高校（男子）、宇部高校（女子）が全国大会へ参加しました。

12月に中国大会が島根県で開催され、宇部高校女子が団体戦で優勝しました。



▲6月に行われた山口県高校囲碁選手権大会の風景

演劇部門

理事長 村岡圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)

<快挙！快挙!!>

今年度の山口県のニュースは何と言っても昨年の県立華陵高等学校の第47回全国高等学校演劇大会への出場、優秀校による東京公演に引き続き、岩国総合高等学校の第48回全国高等学校演劇発表会への出場、優秀校による東京公演です。2年連続のこの成績は山口県はじまって以来の快挙です。この受賞は山口県高等学校演劇協議会の加盟校の生徒・顧問に勇気を与えました。岩国総合高校の美しい舞台にはどの会場でも大きな拍手があったと思います。本当におめでとうございました。

<平成14年度講習会・地区大会・県大会>

本年度の照明講習会は7月26日に宇部市渡辺翁記念会館で行われました。日本照明家協会の方々をお迎えし、県内の生徒・顧問に親切に照明のノウハウをご指導いただきました。私自身、新たな発見もあり、盛況な講習会だったように思います。

地区大会は周防・山防・宇部・下関の4地区で行われました。各地区とも観客が少なかったような気がします。生徒・先生方ともにお疲れさまでした。周防地区では岩国総合高校が東京公演と地区大会の並行スケジュールでの発表と言うことで今年度からの全国大会出場枠（地区大会の免除）を利用され、昨年度よりは余裕のある運営が出来ました。また、今年度も創作作品が多かったように思います。（15作品）創作作品は年々増えてきているような様子で生徒の創作意識の高まりを感じます。

県大会は山口市の山口南総合センターで開催されました。会場が狭く、（どうも山口県の特に県央部には演劇に適したホールが少ない…）各出場校が苦労されたようです。しかし、大会

の方は観客も多く、発表者もやりがいがあったのでは感じています。講師には太宰久夫（玉川大学芸術学部助教授・演出家）先生をお招きし、上演校8校の審査をしていただきました。

熱意ある先生のご講評は生徒にも、また隣で審査していた私にもひしひしと伝わってきました。また、昨年に引き続き生徒講評委員を設けました。生徒審査委員は全国での試みで、賛否両論有りますが、県内レベルでの設置については問題も少なく、好評だったように思います。生徒の演劇を鑑賞する目を養うには、よい機会だと思っています。（もちろん、出張の生徒・顧問にはご苦労をかけました。有難うございました。）来年の会場はシンフォニア岩国を予定しています。

<第40回中国地区高等学校演劇発表会>

今年の中国地区発表会は40周年記念ということと山口宇部での引き受け開催ということで、主管校の宇部中央高校はもとより県内の各演劇部顧問の先生方には大変ご苦労を懸けました。私自身演劇部門を引き受け初の大きな大会でいろいろと行き届かないことがあったことをここでお詫び申し上げます。宇部大会では、会場の狭さや、交通の不便さなど出場校にご迷惑をおかけしましたが、そこは40周年記念ということで何とか皆、大目にみてください手前みそですが、大きな混乱もなくよい大会だったと思います。山口県からは長府高校、岩国総合高校、華陵高校の3校が出場しましたが、残念ながら今年は全国大会へのキップを手にすることは出来ませんでした。しかし、各校ともレベルの高い舞台を上演し、高い評価をいただきました。

3校のみなさんお疲れ様でした。

放送部門

香川県立農業高等学校

(山口農業高等学校農業科)

理事長 青木 幸子

(山口農業高等学校教諭)

1. 県高総文祭総合開会式

本年度は、下関第一高校主管のもと6月13日下関市民会館にて県高総文祭総合開会式が行われました。放送部員が激減の中、下関地区放送部の先生方の尽力によって、集まってくれたアナウンサー達。生まれて初めての市民会館の舞台の上で「一体本当に、ちゃんと、間違えずにアナウンスメントや司会進行ができるのだろうか」と直前まであせりまくり、そして必死で練習を重ねていた部員達でした。長府高校の亀山先生の御指導のおかげで、しっかりと基礎レッスンを繰り返し本番に臨んでくれたのでした。

放送部員 一しかも大会の司会を担当する一にとって一番の難題は、アドリブなのである。インタビューの項目を用意し、ロールプレイで練習して、いざ本番となった時、インタビューを受ける相手もあがっていて、予想だにしなかったコメントが飛び出すことも多々あるものなのです。その時、どう受け止めて、どう尋ね返していくか、そのやり取りこそアドリブの妙ではあるのですが、一番汗だくになり、かつ一番思い出に残るのだそうです。大会に出た経験もなく本当に初めての舞台上でのアナウンスという部員達も「一生懸命耳をすまし」「相手の立場に立って」「聴く」のコアなところを大切に守った…という事で、きっちりと、そしてすがすがしい司会進行を行えたのでした。今までの司会進行は、何度も場をこなしたプロ級ぞろいだっただけに、放送関係の先生方も「ドキドキで臨んだのですが「彼女達の成長ぶりに感動させられた」と、おっしゃる開会式でした。

2. 全国総文祭・神奈川大会

8月10日、11日の2日間、神奈川県川崎市で行われた大会。山口県チームは狭い練習場の中でもガッチリとスクラムを組み、しっかり基礎練習。地方大会ではライバルとして戦って来た人々も、全国にすれば「郷土の仲間」で和気あいあい。アナウンスの部の柴田祐一君は、みんなの期待どおり甚平にわらぞうり。そして紙芝居でもって『厚狭の寝太郎』を上演。朗読では、ほとんどプロの風格を漂わせる岩国高校の牧田由美子女史が「原爆」をテーマに語りきかす。見事、牧田さんは全国の優秀賞を受賞。ここ数年ずっと、全国大会で受賞続きの山口県。来年の福井でも、この伝統を固守したいとかジュアルに語るメンバー達でした。（顧問は荷重し）

3. 県高校総合文化祭放送部大会

11月3日文化の日、ニューメディアプラザ山口にて第9回放送部大会が開かれました。部員数不足に悩む昨今、かってないほどに1年生の参加が多く 一ということはどの学校も2年生が激減というのが実情 いきおい、新鮮だけれどもテクニック今一つと課題を残した大会でした。



将棋部門

理 事 長 弘 中 敏 之
(宇部高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟13番目の専門部として正式加盟して7年目を迎えた本年度は、全国高校総合文化祭への女子個人戦の参加の定着や第1回中国地区将棋選手権大会の開催等、内外共に新たな展開がみられた年となりました。

1. 第24回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

下関西高等学校と宇部高等学校の担当の下、6月13日（木）から15日（土）にかけて下関市民会館にて行われました。先行して開催された部門大会の様子を収めた写真4点が展示されました。写真の作成・部門紹介の準備では常任理事である下関西高校の秋竹先生や、会場設営に携わっていただいた下関地区的生田先生他の諸先生方や生徒諸君に大変感謝しています。

2. 第24回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第38回全国高等学校将棋選手権大会県予選

宇部高校主管のもと、5月26日（日）に中国新聞山口支社3階ホールにおいて開催されました。参加校は14校、参加生徒は男子91名、女子6名におよび過去最高となりました。個人戦で優勝した防府高校の梶山大樹君と山田沙耶香さん、団体戦優勝校である宇部高校の沖中洋介・山本慎・刈谷吾有太君は全国高等学校総合文化祭神奈川大会に参加し健闘しました。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

宇部高校主管により、11月4日（月）に防府市文化福祉会館で行われました。1・2年生の男女生徒70名の棋力向上を図る新人大会と理事の諸先生を中心とした大会運営の研修を行いました。指導対局については、元学生名人で日本将棋連盟下関支部の重本由紀夫アマ五段にお願いしていましたが、当日のアクシデントで急遽多々良高校の佐田先生をはじめ顧問の先生方の協力をいただき有り難うございました。

以上のように現在の高校将棋は生徒数減少の流れにもかかわらず参加生徒が増加する傾向にあります。特に新春に行われた各地の将棋大会では小・中学生の参加も目立っています。今後はこうした地域の社会教育とも連携を図ると共に、高校・大学そして生涯教育への流れの中で活動を進めていく必要を感じています。どうか本専門部の事業活動へ多くの方が参加されますよう宜しくお願ひいたします。



第24回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：下関市民会館

主管校 小林寿紀

(下関第一高等学校教諭)



第24回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は『輝け青春のオーロラ 無限の力を今!』をテーマとして、平成14年6月13日(木)13時から下関市民会館を会場として、盛大に開催されました。翌14日(金)からの2日間は、音楽4部門発表会が開催され、3日間で延べ2,700名余りの出演生徒が県内各高等学校から参加しました。下関地区での開催ということで、主管校である下関第一高等学校だけでなく、下関地区各高等学校の御協力を得て準備を行い、万全を期して臨んだ大会でした。

総合開会式は、江島潔下関市長、藤井俊彦山口県教育委員会教育長をはじめ、多くの来賓の御臨席のもと、華やかな中にも厳肅に行われました。

式典は、下関第一高等学校生徒会文化部長・古川哲也君による力強い開会宣言とともに、下

関地区高等学校合同吹奏楽団の演奏する華やかなファンファーレで開幕しました。続いて「高文連の歌」の演奏にのって高文連13部門のプラカードが入場し、ステージ上の式典態勢が整いました。

山口県教育委員会教育長、山口県高等学校文化連盟会長の高校生による地域文化の継承と新しい文化の創造の推進に期待するとの挨拶について、主管校生徒会長・竹内賢太郎君が「国際化」に向け、伝統文化を踏まえ、新たな文化の創造に挑戦することを期待するとあいさつしました。下関市長の歓迎のことばの後、山口県高文連表彰へと移りました。

「功績賞」は西田昇(前高文連会長)、斎藤真久(元高文連事務局長)、花村慈照(マーチングバンド・バントワーリング専門部)、石島栄子(合唱専門部)の4人の先生方でした。西田

先生は高文連会長、斎藤先生は高文連事務局長、花村先生と石島先生は各専門部理事長としての御尽力を讃え表彰されたものです。「優秀芸術文化賞」は全国総文演劇部門で優秀賞・文化庁長賞を受賞し、全国総文優秀校東京公演に出演した山口県立華陵高等学校舞台芸術部、全国総文放送部門のオーディオ・ピクチャー部門で優秀賞を受賞した山口農業高等学校放送部、全国総文囲碁部門男子個人の部で第3位の成績を修めた山口県立新南陽高等学校卒・小野慎吾君にそれぞれ授与されました。表彰の最後に、今年度の山口県高等学校総合文化祭のテーマを作成した下関第一高等学校2年生・畠 敬子さんに「テーマ最優秀賞」が授与されました。式典後には山口県高文連各専門部の紹介を行いました。

今回は、各専門部に所属する部員の代表がパフォーマンスにより、各専門部の紹介をしました。客席の一般高校生にとって各専門部の活動の様子と同じ高校生がパフォーマンスにより、行うことを改めて十分に知ることができたのではないかと思います。ここで休憩に入り、その後、慶祝演奏に移りました。

慶祝演奏は山口県立長府高等学校吹奏楽部と三田尻女子高等学校・慶進高等学校バトントワリング部の合同による華やかなステージで開幕しました。続いて、早鞆高等学校平家太鼓部による演奏、下関地区高等学校合同吹奏楽団による演奏、山口県高等学校合同合唱団と山口県高等学校合同管弦楽団による演奏が行われ、圧倒

的な迫力と感動が会場内を包みました。最後に会場全員で「翼をください」を合唱し、総合開会式は幕を閉じました。なお、すべての進行、アナウンスは高文連放送専門部の御協力により山口県立長府高等学校放送部に担当していただきました。

総合開会式と並行して行われた美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇の6専門部による慶祝展示は、下関市民会館展示室において、すばらしい作品が数多く展示され、大変好評でした。

今回、総合開会式を山口県立下関第一高等学校が主管校として開催いたしましたが、翌日からの音楽4部門発表会は、山口県立長府高等学校の友永次郎先生を中心とした下関地区の音楽関係の先生方の御尽力により開催するなど、下関地区全体の協力態勢により重責を果たすことができたのではないかと思います。

最後にこの大会を開催するにあたり、地元下関市をはじめ、関係諸機関、多くの先生方の御支援を賜り、無事終了することができましたことを、心からお礼申し上げます。





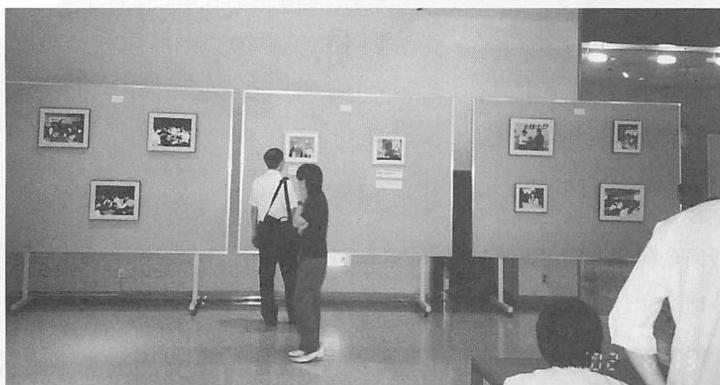
▲表彰式風景



▶佐伯瑠子（下関商業高校）さんの
イラストを基にしたポスター



▼慶祝展示



▼受付風景



◇慶祝演奏

- ＜マーチングバンド・バトントワリング＞
『アメリカの騎士』『ホットドッグ』
【演奏】長府高等学校吹奏楽部
三田尻女子高等学校・慶進高等学校
バトントワリング部
- ＜日本音楽＞
『柱万歳』
【演奏】早鞆高等学校平家太鼓部
- ＜吹奏楽＞
『アルセナール』『春の獵犬』
【演奏】下関地区高等学校合同吹奏楽団
(指揮) 藤田隆行
- ＜合唱、器楽・管弦楽＞
“オラトリオ《メサイア》より
『ハレルヤ・コラス』”
“カンタータ《土の歌》より『大地讃頌』”
【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
(指揮) 本田留美子
- ＜全員合唱＞
『翼をください』
【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
(指揮) 本田留美子
- ＜放送＞幕間出演及び進行アナウンス
山口県高等学校文化連盟放送部会

◇慶祝演奏出演校

- 【マーチングバンド・バトントワリング】
長府 三田尻女子 慶進…… 各高等学校
- 【日本音楽】早鞆高等学校
- 【下関地区高等学校合同吹奏楽団】
豊浦 長府 下関西 西市 響 下関商業
早鞆 各高等学校
- 【山口県高等学校合唱団】
岩国 防府 山口中央 宇部 宇部中央
萩奈古 野田学園 サビエル 萩光塩学院
..... 各高等学校
- 【山口県高等学校管弦楽団】
柳井 山口中央 下関南 下関第一
..... 各高等学校

◇慶祝展示

- ＜美術・工芸＞ 豊浦 長府 下関西 下関南
下関第一 下関商業 早鞆 … 各高等学校
- ＜書道＞下関西 下関南 下関第一 下関商業
早鞆 下関短期大学付属 各高等学校
- ＜写真＞下松工業 徳山 美祢工業 宇部工業
宇部鴻城 下関西 下関第一 下関中央工業
..... 各高等学校
- ＜囲碁＞萩高等学校
- ＜将棋＞下関西 宇部 各高等学校
- ＜演劇＞岩国 岩国総合 各高等学校

◇進行アナウンス

- 長府高等学校放送部
山口県高等学校文化連盟放送部会

◇山口県高等学校文化連盟 表彰者

【功績賞】

- ・西田 昇
平成11年度～13年度山口県高文連会長
- ・斎藤真久
平成3年度～5年度山口県高文連事務局長
- ・花村慈照（マーチング・バトン専門部）
昭和62年度～平成12年度
山口県高文連マーチングバンド・
バトントワリング専門部理事長
- ・石島栄子（合唱専門部）
平成5年度～10年度
山口県高文連合唱専門部理事長

【優秀芸術文化賞】

- ・山口県立華陵高等学校舞台芸術部
[第25回全国高等学校総合文化祭演劇部門]
優秀賞・文化庁長賞]
- [第12回全国高等学校総合文化祭
優秀校東京公演に出場]
- ・山口県立山口農業高等学校放送部
[第25回全国高等学校総合文化祭放送部門]
オーディオ・ピクチャーディレクション優秀賞
= 3位以内 =]
- ・山口県立新南陽高等学校卒 小野慎吾
[第25回全国高等学校総合文化祭囲碁部門]
第3位（男子個人の部）]
- 【テーマ最優秀賞】
- ・山口県立下関第一高等学校 畑 敬子

第24回山口県高総文祭の記録

音楽関係4部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：下関市民会館

理事長 飯田幸生

(下関南高等学校教諭)

平成14年度第24回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月14日(金)、15日(土)の2日間にわたり下関市民会館にて開催されました。また前日13日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年は久しぶりに合同オーケストラを編成し、県下5校の管弦楽部の代表達が集い、100名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハレルヤ・コーラス”そして佐藤真作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”的2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、下関第一高等学校の本田先生の躍動感溢れる美しい指揮

のもとで、開幕式典にふさわしく莊重で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたこと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校とともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の岩国大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に發揮されることを期待しています。

第24回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式並びに音楽4部門発表会

輝け青春のオーロラ 無限の力を今!



合唱部門

会場：下関市民会館

理事長 有富美子
(萩高等学校教諭)

平成14年度第24回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月13日(木)「下関市民会館」にて盛大に開催されました。例年のように器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラと180人の大合唱は、ホール一杯に美しく響き渡り、日頃小人数で演奏活動をしている生徒達にとってはもちろんのこと、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。音響の良い会場で心配していた男女のバランスも良く、力強くすばらしい演奏でした。

また、音楽部門4部門の発表は6月14日(金)、15日(土)の2日間にわたり、高校生の熱心な演奏が続きました。合唱部門の出演校は、10校(岩国、山口中央、野田、宇部、宇部中央、防府、萩、萩光塩、奈古、長府)出演者は197名でした。会場一杯に美しく柔らかい歌声が響き渡り、各校工夫された個性溢れる演奏でした。来年度は、“シンフォニア岩国”で開催されます。さらに練習に励み、一人でも多くの合唱仲間を増やしてください。また来年もすばらしい演奏を期待しています。



吹奏楽部門

会場：下関市民会館

子 美 富 育
まつやま

理事長 藤本博途

(岩国商業高等学校教諭)

平成14年度第24回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月13日（木）下関市民会館で開催されました。

吹奏楽部門として例年どおり開幕式典に下関地区高等学校合同吹奏楽団（下関西・長府・豊浦・西市・響・下関商業・早鞆各高等学校）を編成し、下関西高等学校の藤田隆行先生の指揮で、ファンファーレ、高文連の歌で華やかに開幕し、慶祝演奏では“アルセナール”“春の獵犬”的2曲を演奏しました。力強くすばらしい演奏でした。

音楽4部門発表会は翌14日（金）と15日（土）の2日間にわたり開催されました。吹奏楽部門には54校1,761名の生徒が参加し、すばらしい演奏を披露してくれました。少子化により部員が

少なくなってきた学校もありましたが、演奏力は衰えておらず、各校ともすばらしい演奏でした。特に、来年度の開催地である岩国地区が高校生合同吹奏楽団を編成したり、長府高等学校が交流のあるマーティン・カウンティ・ハイスクールと合同演奏を行ったり、例年とは一味違う発表もあり大変楽しめました。一日の最後は防府西高等学校（藤元徹先生指揮）、長府高等学校+マーティン・カウンティ・ハイスクール（友永次郎先生指揮）の伴奏で『翼をください』を全員合唱し、感動の中で閉幕しました。

下関地区的生徒補助員の動きや態度もすばらしかったことも特筆されます。来年度はシンフォニア岩国で開催されます。また来年もすばらしい演奏を期待しています。

■ 第24回 山口県高等学校総合文化祭 ■

総合開会式並びに音楽4部門発表会

輝け青春のオーロラ 無限の力を今！



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：下関市民会館

理事長 松浦真実

(佐波高等学校教諭)

平成14年度第24回山口県高等学校総合文化祭は、6月13日（木）の総合開会式を皮切りに、6月14日（金）と15日（土）と、下関市民会館で、音楽4部門発表会が開催されました。

開幕式典における慶祝演奏では、マーチングバンド・バトントワリング部門代表として、今年度新規加盟の山口県立長府高等学校吹奏楽部による華やかなオープニング「アメリカの騎士」に続いて、同校と慶進高等学校・三田尻女子高等学校バトントワリング部との合同演技「ホットドッグ」を披露しました。本部門の正規の演奏・演技は、本来30m×30mの広いフロアで行い、それを上から鑑賞するものですので、毎年本大会では、限られた舞台の上あるいは観客席の中にも入り込んで、工夫を凝らしたステージドリルとしての熱演が繰り広げられています。

今年度はダイナミックな演技と技術的にも高い演奏との見事な合同ステージで、大好評を得

ました。

音楽4部門発表会には、三田尻女子高等学校バトントワリング部による「Love」をテーマにした華やかな演技。山口県鴻城高等学校吹奏楽部は「エル タイガー」・「ライズ アゲイン」・「マンボ ビート」のメドレーにのせた力強くスマートなマーチング。山口県立佐波高等学校は「明日があるさ」「上を向いて歩こう」の坂本九のメドレーにのせて楽しいマーチングを披露しました。この部門は、吹奏楽部門と兼ねての加盟校もあり、二つの活動の両立は大変だと思いますが今後ますますのマーチングバンド・バトントワリング発表の輪が大きく広がっていくことを願っています。

みなさんも、音楽の喜び・豊かさ・深さを華やかに体で表現する「対話の音楽」、マーチング・バトントワリングをやってみませんか？！



日本音楽・吟詠部門

会場：アクティブやない

夫婦新婚

浦町昌美

(柳井高等学校教諭)

さわやかな初夏の好天に恵まれた平成14年6月15日（土）、第24回山口県高等学校総合文化祭・日本音楽部門の発表大会が、柳井市のアクティブやないで開催されました。主管校としての運営をお引き受けいたしましたが、多くの学校のご参加とご協力をいただき無事終了することができました。

最近はどの学校も、生徒の部活動離れが懸念されていますが、今年は19校20演目の参加がありました。従来の筝曲を中心としたプログラムに加え、太鼓・合吟・仕舞が色を添え、また、三味線・尺八の独奏や、仕舞では外国人留学生の出演など各校とも趣向を凝らし、とても充実した内容だったと思います。真剣な眼差しで楽器に向かい、一生懸命曲に取り組む生徒達の姿はとても輝いていました。また、この日のためにと、練習を重ねてきた様子が随所にうかがえ、すばらしい発表は聴衆の皆さんに深い感銘を与えたことと思います。

今年度初めて企画された合同演奏は、ステージが狭く、多くの人数での参加は無理でしたが出演した生徒たちにとっては、他校の部員と一緒に演奏するという非常に貴重

な経験となりました。お互いに面識がなくても同じ日本音楽を愛する者たちが、心を一つにして曲を作りあげました。緞帳が下りた時の、生徒たちの満足感あふれた紅潮した顔が忘れられません。演奏にあわせて会場のみんなが一緒に歌えると、もっと連帯感が深まったのではないかと感じました。

若い世代にとって、太鼓・三味線・箏・吟詠・仕舞といった日本の伝統芸能はなじみの薄いものではあります。しかしながら、この伝統音楽をしっかりと受け継いでいく場として、また、生徒たちがお互い交流を図り、研鑽を積む場として、この発表大会がますます充実したものになるよう期待したいと思います。

本大会を運営するにあたり、山口県高等学校文化連盟の方々はもとより、多くの関係の皆様方に大変お世話になりました。一言お礼を申し添えて報告いたします。



展示3部門

美術・工芸、書道、写真部門

会場：シンフォニア岩国

主管校 平田博英

(岩国工業高等学校教諭)

今回の県高総文祭展示部門は、11月15日から3日間シンフォニア岩国で行われました。最終日の表彰式・講評会には、県内各校美術・工芸、書道、写真部の生徒達で会場が埋まり、熱気が冷めぬ中、大会は幕を閉じましたが、3日間を通して会場に詰めていると、初日、2日目の閑散とした会場が気になってしまう。初日は、オープニングセレモニーが行われ午前中は華やいだ雰囲気が漂っていますが、午後からは人影がまばらになり、会場内に飾られた作品群に対し、なんだか申し訳ないような気持ちになってくる。

確かに、各方面にはいろいろな形で案内を送り、高校生の力溢れる作品に接してもらおうと働きかけはしましたが、それが功を奏しているとは思えない。市内の中学生、関係各高校の保護者、そして岩国市民。たくさんの人たちに、この大会へ足を運んでもらうための効果的なPR活動が必要だったのかも知れません

それでも、今回、初日2日目ともそれぞれ百名余りの方が会場を覗いてくれています。シンフォニア岩国内別会場でのイベント帰りに立ち寄られた方が大半を占めますが、まさに会場を覗いてくれたといった表現がぴったりです。しかし、ちょっと立ち寄ったその場所で、しっかりと足を止めさせ作品に釘付けにさせていたのは、高校生達の作品群です。そのことを考えると、これだけの規模と水準の大会をもっとたくさんの人達に鑑賞してもらいたかった、いや、鑑賞させる働きかけが必要だったと思います。会場となったシンフォニア岩国の多目的ホールには、展示用のパネルが設置されていませんで

した。そのことを含め、今回準備後片付けに奮闘してくれた岩国地区関係部門の生徒諸君には大変助けられました。作品だけでなく、大会そのものをつくると意識してくれていたのだと思います。



美術・工芸部門

出品数が昨年度を若干下回ったが、質量とも例年の水準は保っていたと思う。昨年度は、会場の都合により2ヶ月遅れの開催となり、逆に制作時間のゆとりから大作が多く出品され、そして下関美術館での展示とあって、比較するとしても今大会に物足りなさを感じてしまうが、生徒の作品に対する熱い思いは、十分に会場を埋め尽くしていた。

さて、全国を見据えた上で述べれば、立体作品が昨年度比では随分と減った。それでも7作品の出品は、数年前の状況を考えると、立体に対する意識が各校美術部に少しは浸透してきたみたい。しかし2年後、青森大会からの出品枠規定の変更に、現状は進展をしているとは言い難い。是非とも、生徒にとってのチャンスを潰すことは避けたいものだと思う。

(理事長：平田)

の難しさを改めて考えさせられると同時に、作品に相対してひたむきに挑んでいる高校生の姿を、一本一本の線から確認することができました。各校での部活動の取り組みがますます活発に行われ、そのエネルギーで会場が熱く燃えるような発表会でありますように。

(理事長：有富)

写真部門

開催日に101点の展示作品のうちから優秀作品10点を審査によって選出しました。審査委員長には、二科会写真部会員で山口県支部長である兵頭治雄氏にお願いしました。

今年度は、カラー写真の出展も増え、さらには徳山商高よりデジタル作品の出品もあり、バラエティーに富んだ展示となりました。また、組写真の応募も増え迫力のある作品が目を引きました。作品を出品した学校数も昨年度の16校を3校上回る、19校でした。顧問の先生方のご協力に感謝致します。

さて、恒例の撮影会を最終日の午前中に、紅葉のなか錦帶橋周辺にて、参加生徒15名で実施しました。県東端の岩国市開催とあって、西部の高校からの参加が難しい状況でしたが、顧問の先生方のご協力により、無事実施できました。

天候にも恵まれ、各自風景写真を中心に活動し、作品コンテストでは、最優秀に徳山高校3年の渡辺麻衣子さんの紅葉をテーマにした作品が入賞しました。今後も、こういった研修会をできるだけ多く実施し、県のレベル向上に努めたいと思います。

(理事長：佃)

書道部門

県内26校から87点と、昨年より若干点数も増え、高校生たちの力作で、広々とした会場の壁面もあつという間に埋め尽くされてしまいました。生徒数減、部員数減、指導者数減とすべて減少方向へ進んでいるという実情の中、この出品数の増加は、各校顧問の先生方の、意識の強さによるものだと深く感謝しております。

さて、今年の作品についてですが、例年通り、漢字の古典の臨書作品が60点と圧倒的に多い中、

第24回 県総文祭展示部門出品校一覧表

	学校名	美術・工芸	書道	写真		学校名	美術・工芸	書道	写真
1	岩国	4	4		26	小野田			4
2	岩国総合	3	4		27	小野田工業			8
3	岩国商業	5	4		28	厚狭	2	3	
4	岩国商業東分校	1			29	大嶺	4		
5	岩国工業	3			30	美祢工業			3
6	坂上	5			31	西市	2		
7	柳井	5			32	豊浦	3		
8	柳井商業	2			33	長府	5		
9	光		4	6	34	下関西		4	7
10	光丘		2		35	下関南		4	
11	熊毛北		4	9	36	下関第一	2	3	1
12	下松工業			3	37	下関中央工業	1		
13	徳山	2	4	6	38	萩	2		
14	徳山商業			10	39	萩商業	2	4	
15	防府	4	4		40	萩工業	2		
16	防府西	3			41	聾	2		
17	防府商業		1		42	防府養護		2	
18	山口	5	4	8	43	下関養護	4		
19	山口中央	3	4		44	下関商業	5	4	5
20	西京	5		10	45	高水	3	4	
21	宇部	5		6	46	中村女子		3	
22	宇部中央	5	3		47	野田学園	2	4	
23	宇部西	5	2	5	48	慶進	5		
24	宇部商業	5	2		49	サビエル	2		
25	宇部工業		1	10	50	萩光塩学院	5	4	
	全県共同作品		1			合計	125	87	101

第24回 県高総文祭展示部門・優秀作品一覧

美術・工芸部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
徳山高等学校	2	松原 友紀	エス	○
山口高等学校	2	寺田 幸子	JUMPING KID	○
宇部商業高等学校	2	大元あゆみ	GUARDIAN SPIRIT	○
長府高等学校	2	植村 直子	淋しいアトリエ	○
防府高等学校	1	長嶺 謙介	いのち	○
岩国高等学校	2	中村 綾	テンサイ	
柳井高等学校	2	木下 志織	掴んだりんご	
山口高等学校	2	白藤さえ子	はうわっ!!	
萩工業高等学校	2	森川 奈美	趣味	
下関商業高等学校	2	岡田 拓也	My Generation	
防府高等学校	1	御手洗 翔	ラムネびんと夢想曲	
防府西高等学校	1	南 智奈恵	Magic World	
下関商業高等学校	1	佐々木 梢	無我	

書道部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
宇部西高等学校	2	西 村 緑	臨「石門頌」	○
下関西高等学校	2	樋口 恵子	臨「魏靈藏造像記」	○
萩光塩学院高等学校	2	村木智美	臨「蘭亭序」	○
厚狭高等学校	1	徳久紘子	臨「雁塔聖教序」	○
防府養護学校高等部	3	宮田紘子	藤村の詩「初恋」	
山口高等学校	2	河村清花	創作「遊」	
下関商業高等学校	2	藤井寛子	臨「雁塔聖教序」	
高水高等学校	2	黒瀬喜子	臨「李 詩」	
防府高等学校	1	羽嶋剛司	臨「雁塔聖教序」	

写真部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
徳山高等学校	2	西嶋基	野球部の小さなお母さん	○
徳山高等学校	2	河済真和	柔道一直線だけど	○
美祢工業高等学校	2	村岡広基	田んぼの半年	○
宇部工業高等学校	2	山村悠介	たのんだぞ!! まかせとけ!!	○
宇部工業高等学校	2	若松誠	悲しみ	○
徳山高等学校	3	渡辺麻衣子	恥はかき捨て	
宇部西高等学校	3	大和奈美	猫眼	
美祢工業高等学校	2	村岡広基	シャボン玉BOY	
宇部工業高等学校	2	山村悠介	瞳(ひとみ)	
宇部工業高等学校	2	若松誠	HUG~抱きしめる~	

※第27回全国高総文祭（福井大会）候補作品は、上記の美術・工芸5点、書道4点、写真5点

囲碁部門

会場：萩高等学校

理事長 井町頼信
(萩高等学校教諭)

平成14年度の第24回山口県高校総合文化祭囲碁部門の第14回大会兼第27回全国高等学校文化連盟囲碁部門第16回大会県予選大会は、平成14年10月27日(日)萩高等学校で開催されました。

参加高等学校は12校で、男子63名、女子15名の計78名で、女子の参加が少ないので気がかりです。

今年は対戦方法を大きく変えました。それは従来のようにハンディ戦だと、ハンディをもらった方がいくら勝っても、強いとは見なしてもらえず、従って全国大会へ出場することができなかつたという点を改善しました。すなわちベスト16以上の者はいくら段級差があっても互戦で打つというのです。これで勝ち負けがはっきりし、とてもすっきりしたというのが最大の改善点です。16人以外の者は従来どおりのハンディ戦です。それは勝負と同時に段級位の認定も行われるので、ベスト16以外の者までが互戦で打つのが無理なためです。問題点は団体戦が成立にくくなつたことです。つまり、ベスト16に2名以上入っている学校でないと団体が組めないからです。このように大きく変化をなしと

げた大会となりました。

この大会の結果は次のとおりです。

<団体戦>男子 優勝 下関西高等学校
女子 優勝 宇部高等学校

<個人代表決定戦>

男子 優勝 梶橋賢太郎 下関西高等学校
女子 優勝 藤井 麻美 宇部高等学校

<団体代表決定戦>

男子 代表 吉津 宏樹 萩高等学校

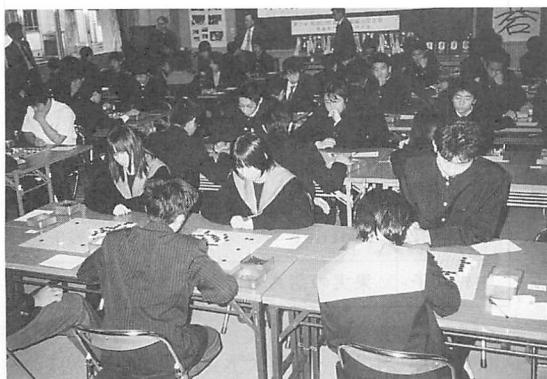
代表 工藤 弘志 下関工業高等学校

女子 代表 萩 恵里子 下関西高等学校

それぞれ優勝(代表)の5名は、平成15年8月11日～12日に福井県福井市で行われる全国大会に参加する予定です。

会場の萩高校は山陰に位置し、多少不便ということもあって、何校かが前日から萩市へ宿泊しました。そのおかげで前日は学校間の練習ができて良い研修になったと思います。

この大会を参考にして12月の中国大会の代表も決定したのですが、それにより代表となった宇部高校の女子が中国大会で団体優勝したことが快挙でした。



演劇部門

会場：山口南総合センター

理事長 村岡圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)



10月26日（土）・27日（日）に山口南総合センターで県大会が開催されました。

会場は例年通りコンクール形式の発表ということと、今年は中国発表会が地元宇部での開催にあたり、中国大会への参加枠が3校になることもあり例年以上に熱気に包まれていました。

舞台では県大会常連校や久しぶりの出場校など様々な顔ぶれがそろい、バラエティに富んだものとなりました。学園ものや時代を風刺したもの、クローン問題や介護問題など素直に楽しめるものから考えさせられるものまで高校生の演じている作品とは思えないほどすばらしいものが多かった大会でした。

審査員の講評では舞台作りの上での大道具の必然性や時間経過の処理など細かい点まで熱意ある指導を受け生徒も勉強になったと思います。

観客を引きつけるためには、まず舞台上の役者が集中力を失ってはならないと指摘もされていましたが、全体の感想ではさすが全国大会に2年連続で出場している県の大会だとお褒めの言葉をいただきました。

今大会でも昨年から引き続き生徒講評委員会をもうけ、生徒の視点から特別賞を授与しました。講評にたずさわった生徒も良い経験となっ

たようです。

大会運営には出場校以外の顧問・生徒が多数参加し、県大会を成功させるために全員が協力していました。高校生が自分たちの勝敗と関係なく他校の生徒のために汗を流している姿は大変感心しました。

高校演劇にかかわって早くも10年の歳月が過ぎようとしていますが、年々山口県の演劇レベルが上がっているように思えます。そういう意味では、各地区大会を勝ち上がってこの県大会に出場できる学校は、その中でも優秀な学校ということになります。しかし、演劇は勝ち負けではないということも運営に協力した生徒、顧問それぞれの表情を見ていると思いました。良いものを作り、それを見るもの・演じるもの・支えるもので共有したいという思いがその表情に表れていました。

第24回山口県高等学校総合文化祭演劇部門
第21回山口県高等学校演劇大会
出場校・上演作品一覧

学校名	作品名	作者名
防府商業	「山田さん」	演劇部
宇部中央	夜の学校	如月 小春 演劇部潤色
安下庄	GONGRERA	安藤 聖
下関南	くもりのち晴れ ときどきダイエット	松山 正臣 演劇部潤色
岩国総合	待ちの風景	山崎 公博
華陵	Clock・Click	迦陵 頻伽
長府	Mother	河内美千恵
中村女子	果実の落ちるときに	小池 真琴

<講師・審査員>

太宰久夫（演出家・玉川大学芸術学部助教授）

山口武信（劇作家）村岡圭吾（山口県鴻城高等学校）

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 青木 幸子

(山口農業高等学校教諭)

11月3日、山口農業高校主管のもと、第9回放送部大会が、ニューメディアプラザ山口を会場に行なわれました。参加人数は例年どおりでしたが、参加作品数が減少した事、2年生部員が少なく、個人部門に1年生の出場が目立った事など、どの学校においても部員不足の嘆きが語られるものでした。しかし、物は考えようで、1年生から大会という舞台を踏む事のできる生徒は、貴重な体験を明日の糧に、3年生になればきっと全国レベルでの活躍が期待できるハズ(?)と顧問会議でも、皆でエンパワーメントの方策を真剣に考えあったのです。1年生はたしかに未熟ではありますが、技巧に走らず、一生懸命伝えようという「情熱」はひしひしと伝わり、それが審査を担当して下さったアナウンサーの心をいたく動かしたというのも事実なのです。審査は、隣の広島県の高校出身でNコンで全国2位を受賞した、放送部会のOB中谷KRYアナウンサーが担当して下さいました。御自身がNコンも高文祭も体験していらっしゃるアナだけに、講評も非常に具体的アドバイスが多くちりばめられていて、明日からの練習にすぐに使えるものと生徒からは大好評でした。

ビデオメッセージ・オーディオピクチャ部門を担当してくださったのは昨年から引き続いだ赤瀬KRYテレビ制作部次長。軽妙な語り口の中にシビアな批評が混じり込み、各々の作品の良い点、もっと改良余地ありの点など指摘して下さり、来年全国推薦された作品についても、丁寧な御指導を受けることができました。

来年度、福井大会に推薦されたのは次のとおりです。

◎アナウンス部門／

山本沙織（下松） 武安佳孝（山口中央）
岡本奈緒美（山口）

◎朗読部門／

古本菜穂子（山口） 林 真里（華陵）
中山美穂（山口中央）

◎ビデオメッセージ部門／宇部高

◎オーディオピクチャ部門／山口農業高



将棋部門

会場：中国新聞山口支社

モリタ書道
高見澤書道

理事長 弘中敏之

(宇部高等学校教諭)

第24回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第38回全国高等学校将棋選手権大会の県予選を兼ねて、5月26日（日）中国新聞山口支社において開催されました。参加校14校、97名の参加は過去最高の参加校・参加者数となりました。

対局方法は総平手。男子個人戦は初戦よりトーナメント方式とし、敗者は5対局の親睦リーグ戦。女子個人戦は5名総当たり、男子団体戦も7チーム総当たりのリーグ戦を行いました。運営上、25分切負け制、および15分後30秒秒読み制という厳しい持ち時間となりましたが、その下で全力を出し切ろうと盤に向かうひたむきな選手の姿が印象に残りました。



結果は次の通りです。

＜団体戦＞

優 勝…宇部高等学校A

(沖中洋介・山本 慎・刈谷吾有太)

準優勝…宇部高等学校B

(長岡佑典・中嶋祥吾・正司 康)

三位…防府高等学校A

(小澤寛史・原田一正・石田大祐)

＜男子個人戦＞

優 勝…楫山 大樹（防府高等学校）

準優勝…鵜澤 秀之（豊浦高等学校）

三位…木村 翔（徳山高等学校）

＜女子個人戦＞

優 勝…山田沙耶香（防府高等学校）

準優勝…藤田 愛子（防府高等学校）

三位…長谷川奈々（宇部高等学校）

各種目の優勝者・団体は8月に行なわれた全国高等学校総合文化祭神奈川大会への出場権を獲得しました。

最後になりましたが、多方面の方々の深いご理解とご協力によって本専門部の活動が支えられてきたことに深く感謝しています。今後も、さらなる皆さんの参加をお願いします。



第26回全国高等学校総合文化祭の記録

潮風にのりかもめよばたけ創造の翼広げて

全総文(神奈川大会) 参加校一覧

部 門	高 等 学 校	参 加 生 徒 数	備 考 (演奏曲目・作品等)
パ レ ー ド	山 口 県 鴻 城	(60)	マーチングバンドにも出演
	三 田 尻 女 子	(14)	
	慶 進	(10)	(2校合同出演) バトントワリングにも出演
演 剧	県 立 岩 国 総 合	15	演目「めろん」
合 唱	県 立 萩	30	演目「みなまた海の声」より VI ゆうきすいぎん (有機水銀)
吹 奏 楽	県 立 下 関 西	42	演目 Escales 「寄港地」より、Birdlandバードランド
器楽・管弦楽	県 立 熊 毛 南	6	演目 タンゴ・ブラジレイロ “鐘のひびき”、11月のある日、エスペランサ
日本音楽	県 立 柳 井	10	演目 夜の円舞曲 坂本勉作曲
マーチングバンド	山 口 県 鴻 城	60	演目 Story of 湘南
バトントワリング	三 田 尻 女 子	14	
	慶 進	10	演目 Let's go for it !
美 術・工芸	県 立 宇 部	1	絵画 「オレと兄貴」 小中大地 (3)
	県 立 大 津	1	デザイン 『STANDARD』 福田麻喜子 (3)
	県 立 山 口	1	彫刻・立体 「Where am I going?」 宮原なつき (3)
	県 立 宇 部 中 心	1	絵画 「教室から見た風景」 師井綾子 (3)
	市 立 下 関 商 業	1	絵画 「テクノクラートの歎」 村田公人 (2)
書 道	県 立 萩 商 業	1	漢字 「臨 蘭亭序」 伊藤愛子 (2)
	高 水	1	漢字 「臨 牛欄造像記」 竹中昌子 (2)
	市 立 下 関 商 業	1	漢字 「臨 九成宮醴泉銘」 藤井寛子 (2)
	早 鞠	1	漢字 「臨 楊巖山隸書傳拾遺語」 小島裕香理 (2)
写 真	県 立 下 松 工 業	1	単写真 「竹林」 中茂貴博 (2)
	県 立 徳 山	1	単写真 「自分の時間」 西嶋 基 (2)
	県 立 宇 部 工 業	2	単写真 「自我像」 波木聰史 (3) 「想い」 山村悠介 (2)
	宇 部 鴻 城	1	単写真 「めまい」 佐藤 純 (3)
囲碁	県 立 防 府	1	個人戦 (男子) 大田晃司 (3)
	県 立 宇 部 商 業	1	個人戦 (女子) 貞政伸恵 (3)
	県 立 下 関 西	1	団体戦 (男女混合) 萩 恵里子 (2)
	県 立 萩	1	団体戦 (男女混合) 吉津宏樹 (2)
	県 立 豊 浦	1	団体戦 (男女混合) 工藤正英 (3)
放 送	県 立 山 口	1	朗読 清王裕子 (2)
	県 立 宇 部	1	朗読 宮本奈々 (3)
	県 立 山 口 農 業	1	アナウンス 柴田祐一 (3)
	県 立 熊 毛 南	1	アナウンス 石田絢香 (3)
	県 立 岩 国	3	アナウンス 山田亜里紗 (3) 朗読 牧田由美子 (3) ビデオメッセージ 「at tempo～自分らしく私らしく～」
	県 立 華 陵	2	オーディオピクチャー 「あなたが私にくれたもの」
将 棋	県 立 宇 部	3	団体戦 (男子) 沖中洋介 (3) 山本慎 (2) 刈谷吾有太 (2)
	県 立 防 府	2	個人戦 (男子・女子) 梶山大樹 (3) 山田沙耶香 (2)
文 芸	県 立 萩	1	詩 伊藤沙織 (2)
	県 立 防 府	3	短歌・池田 愛 (2) / 文芸誌・佐藤慧子 (2) / 散文・岡見依子 (3)

合計 参加生徒数／224名



▲市街パレード



▼式典



▼フィナーレ



器楽・管弦楽部門

会場：厚木市文化会館

熊毛南高等学校

3年 大出聰子

平成14年の夏、私たち熊毛南高等学校音楽部は、神奈川県で開催された全国高等学校総合文化祭に山口県代表として参加しました。

私たちの部は、部員同士や顧問の先生との仲がとても良く、県内で唯一のギター合奏をする部活動で、プロのギタリストの方々のご指導を受ける機会も多くあり、とても恵まれた環境にあります。ただ、部員は6人ととても小規模で、これまでのコンクールなどでも人数の多い学校に引け目を感じることがありました。しかし、「少人数でもやればできるんだ」ということを全国の舞台でアピールするため、日々練習に励んできました。

全国大会のステージに立った時、人の多さと

今までにない緊張感に圧倒されました。

しかし、終わってみると充実感でいっぱいです、とても気持ちよく演奏することができたことを覚えています。他校の演奏も、さすがに全国の舞台だけあってレベルが高く、いい刺激になりました。

3年生は引退しましたが、全国大会に参加できたことで、より音楽を楽しむことができるようになりましたし1、2年生も今後の活動へのよい経験となったことでしょう。そして、部員たちの絆を強くすることになりました。

最後となりましたが、このような機会を与えて下さった方々や私たちを支えて下さった多くの方々に深く感謝を申し上げます。最高の思い出をありがとうございました。

第26回全国高等学校総合文化祭・神奈川大会
全高総文祭力ながわ2002

器 樂・管 弦 楽 部 門



▲熊毛南高等学校

合唱部門

会場：よこすか芸術劇場

萩高等学校

2年 上田美穂

私達萩高等学校合唱部は山口県代表として神奈川県横須賀市で開催された全国高等学校総合文化祭に参加させて頂きました。県の代表としてのプレッシャーを感じながらも、水俣病の恐怖や悲しみ・怒りなどを一人でも多くの人に共感してもらえるよう本番の日まで、出来るだけの練習を重ねてきました。

本番当日は「全国」というプレッシャーが私

達全員の肩にのしかかりはしたものの、悔いの残る事の無い演奏が出来、ステージが終わった時の感動と充実感は普段の練習には無いすばらしいものでした。

この数少ない貴重な体験をすることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。御協力・御支援をして下さった神奈川のスタッフの皆様方に心より感謝しております。そして私達の演奏を聴いて下さった方にも心から感謝しております。

本当にありがとうございました。



▲萩高等学校

吹奏楽部門

会場：神奈川県民ホール

下関西高等学校

吹奏楽部部長 池上知美

“すごいっ！！”これが8月7日から神奈川県で行われた全国高等学校総合文化祭に参加しての感想です。私たちは本当にたくさんのこと学ぶことができました。

出発前、この全総文の2日後にコンクールを控えているということもあり、神奈川への長旅にたくさんの不安を抱えていました。全国という大舞台で山口県代表として恥ずかしくない演奏ができるだろうか。聴く人を満足させることができるものだろうか……。

しかし、実際に横浜に着くと、その都会さに感激しながらも、自然とステージへの意欲がわいてきました。出演当日、ホールに入るとたくさんの客席、広いステージ、こんな大きなホールで演奏することができるなんて嬉しそう！絶対にいい演奏をしてやるっ！！不安はやる気へと変わったのです。

本番では、コンクールの自由曲でもある「寄港地」とウエザーリポートの「バードランド」を楽しく演奏することができました。聴く人、吹く人みんなが一体になるという感動を体全体で感じ取ることができ、音楽というものを改めて素晴らしいと思いました。また、他の学校のステージはさすが全国というものばかりで、とてもよい勉強をさせてもらいました。

次の日に練習場所を提供してくださった桜丘高校の方々にも大変お世話になりました。その学校もコンクール前で大変迷惑だったにもかかわらず、嫌な顔一つせず親切にしていただき、部員一同感動しました。この時受けた親切を忘れず、自分たちもこんな風になれたらしいなと思います。

全総文に参加するにあたり、周りで支えてくださったたくさんの方々に心から感謝しています。そしてこの体験をこれからしっかりと役立てていきたいと思います。



▲下関西高等学校

マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：小田原アリーナ

『湘南の風によせて』

三田尻女子高等学校

2年 山根美希

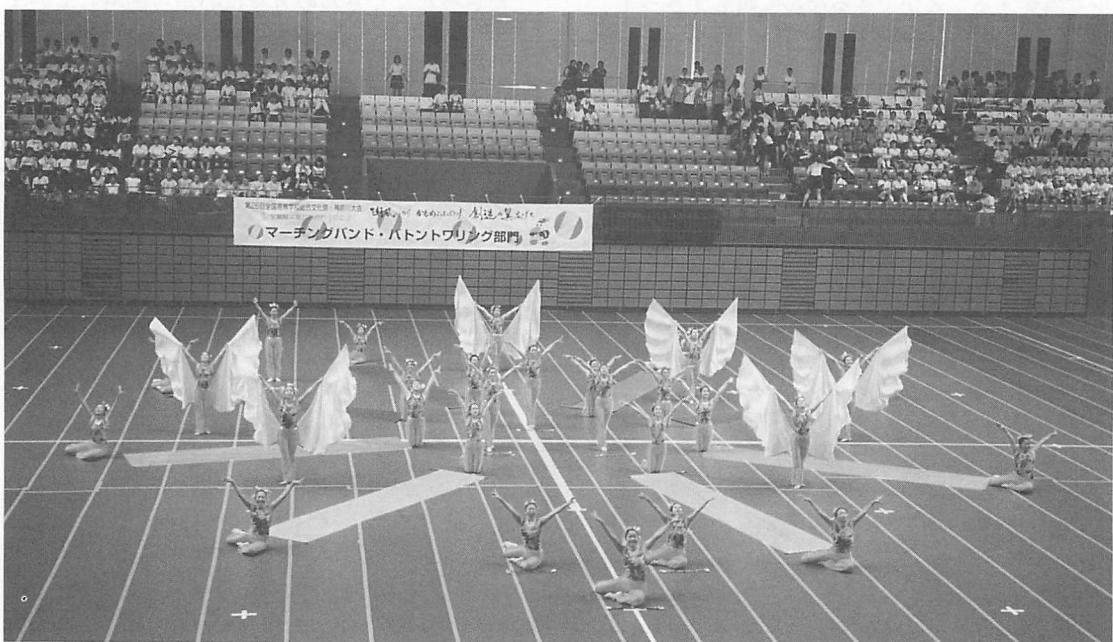
穏やかな瀬戸内で育った私たち乙女は、一本のバトンに夢とロマンを求め、「きらら博」でいただいた元気を持って今年も大都会で湘南の風に頬を染め、威風堂々のパレードを繰り広げた。

ポンポンやショートフラッグはビルの谷間に……。大空に……。眩しいほど映え、さらに私たちは県鴻城高等学校の軽やかなマーチングに心はずませ、青春のステップを踏んだ。

そして、終点地で撮った写真は、達成感や充実感にあふれとても印象的なものだった。またペイブリッジを背にしたアングルは今では大きな宝物のひとつになっている。

休む間もなく気持ちも新たに、小田原アリーナを会場に山口県代表として誇りを持ち、さらに流した汗を信じ、数々の手具を用い演じた。中でも、今年の布は、瀬戸内の穏やかな海の色、そして、私の大好きなカラーであるとともに、山口県の色オレンジを。また、私たち乙女の純真な心の色等々、広い会場に思いを馳せたカラーが飛び交った。清く淡い音楽の調べにのせ、フロアーいっぱいに舞い、全国の高校生に数々の熱い思いを発信した。

★ 耳を澄まして見てください。
目を凝らして見てください。
若人の讃歌が見えてきました。
……聴こえてきました……。



日本音楽部門

会場：秦野市文化会館

柳井高等学校 2年 藤永 美雪

私たち柳井高校箏曲部は、8月9・10日に神奈川県秦野市で開催された全国高等学校総合文化祭日本音楽の部に出演しました。さすが全国大会というだけのこともあり、県内の高校とは違う演奏を聴くことができました。そのレベルの高さや、大人数での演奏の迫力に驚くばかりでした。それでも私たちは自分たちなりに心を一つにして最高の演奏ができたと思っています。

最近では、箏・三味線・尺八等で奏でられる日本音楽に触れる機会が少なくなりつつあります。全国総文に出場したことによって、すばらしい演奏を聴くことができ、日本人である私たちは、このような歴史ある優れた伝統芸能を受け継いでいく必要性があるのではないかと考えさせられました。

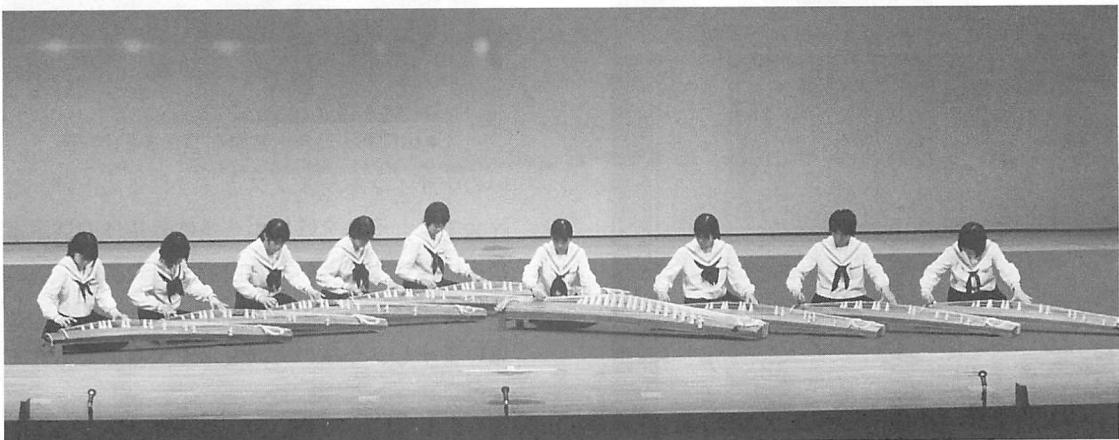
私たち箏曲部員一人一人が多くのこと学ぶことのできた大会でした。このようなすばらしい機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

柳井高等学校 1年 村上朋子

幕が上がった。ついに本番がやってきた。思えば、あっという間の4ヶ月だった。高校に入学して少しだった頃、顧問の先生に熱心に勧誘されて入部した箏曲部。生まれて初めて触れた箏。全然思うように指が動かなくて、私の指を嫌がっているかのように、何度も爪がはずれ落ちたのをよく覚えている。しかし、毎日の練習のおかげで、こんな大舞台で演奏できるまでになった。

部の紹介が終わって、舞台ではいよいよ演奏が始まった。意外にも、思っていたほどひどく緊張はしなかった。演奏の方も、うまく指が動かなかつた所があったものの、大きな失敗をすることなく無事に弾き終えることができた。言葉では言い表せない達成感でいっぱいだった。

今回の演奏会で、普段の生活では経験できない、いろいろな経験をすることができた。参加できて本当によかったと思う。これから高校生活に、少しでも今回の経験を活かすことができたらと思う。



▲柳井高等学校

美術・工芸部門

会場：神奈川県民ホール

理事長 平田博英

(岩国工業高等学校教諭)

横浜の夏の暑さなどすっかり忘れ、寒さに身を震わせ始めた頃、小型の段ボール箱が宅配で届いてきました。中には、第26回全国高等学校総合文化祭神奈川大会、美術・工芸部門の映像記録がCD-ROMとなって、詰め込まれていました。実に、このCD-ROMが象徴するように、神奈川大会における美術・工芸部の取り組みの姿勢に圧倒された大会でした。

まず、各部門の会場に飾られたマスコット「かもえもん」の立体オブジェ。みなとみらいギャラリーで開催された、企画展I「海と私」展。横浜産貿ホール・ウエインズ21のギャラリーでは企画展II「穴窯陶芸」展とスカーフデザイン展。そして交流会では、参加生徒が思い思



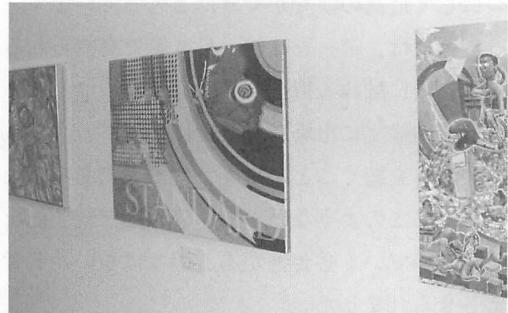
▲宇部高・3年・小中大地君の作品



▲下関商業高・2年・村田公人君の作品



▲宇部中央高・3年・師井綾子さんの作品



▲大津高・2年・福田麻喜子さんの作品



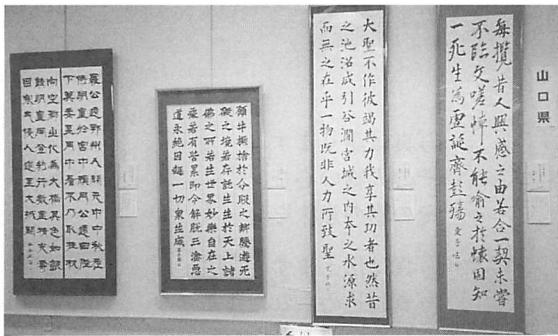
▲山口高・3年・宮原なつきさんの作品

いのデザインをシルクスカーフに染め上げ、講評会では、それを県民ホール吹き抜けの展示室に掲げ鑑賞するといった内容でした。

今までにない、生徒参加型の大会であったと思ひますし、今後の方向を示す大会でもありました。

書道部門

会場：横浜市民ギャラリー



萩商業高等学校 2年 伊藤愛子

私の作品が全国大会候補に選ばれたと聞いた時、驚きと不安な気持ちでいっぱいになった。

『県代表として立派に書けるだろうか……』

横浜の会場には、思っていた以上にレベルの高い作品が展示されていた。それに圧倒されたけれども、全国の作品を見、講師の先生の話を聞いたことが大きな収穫になった。交流会ではグループごとにサザンの「つなみ」の一節を書き上げた。自分達の作品が曲にのって風船で吊り上がって行くのを見た時の「やった」という気分。みんなの笑顔が印象に残った。

今回の体験は私に大きな影響を与えた。書く事のおもしろさを知っただけでなく、秋の文化祭では自信を持って責任ある仕事ができた。これからも一生懸命部活に勉強に取り組んでいきたい。

早鞆高等学校 2年 小島裕香理

この度、全国大会に参加する機会をいただき素晴らしい経験をすることが出来ました。会場には大作が数多くあり、その迫力に圧倒されてしまい、少しの間自分の作品を探すことを忘れる程でした。同じ高校生が書いた作品とは思えないような臨書から創作作品まであり、書いた人の思いが伝わってくるようでした。私はこれらの多種多様な作品に大きな刺激を受けました。そして全国のレベルも分かったような気がしました。今後、いつまで書道を続けていくか分かりませんが、この貴重な経験を生かし、もつ

ともっと書道を好きになって、書道を通じて色々な人達と交流出来たらと思いました。

高水高等学校 2年 竹中昌子

この全国総文に参加できたことは私にとって高校書道の広さを知るとてもいい機会になりました。3日目の交流会でグループ毎に別れ歌詞を分担して書き、風船をつけ曲にあわせて上げていく企画は「静」＝個人から「動」＝大勢という今までにない書道の体験でした。前日の書道部門の作品展では全国の凄しさに圧倒され、自分の小ささを情けなく感じ、すごく緊張していたのですが、いざ会ってみるとみんな私と同じ普通の高校生で、自分と同じことを感じていたことを知り安心しました。初めて会った者同士が互いにいいものを仕上げようといろんな改善点を言い合えたのはさすが各県の代表者だなと感じました。私は今回ここで出会ったみんなとの体験、そしてこの3日間で感じた沢山の感動をこれから自分の力にしていきたいと思っています。

下関商業高等学校 2年 藤井寛子

全総文祭に参加して、一番に学んだことは、書道に対する情熱、奥深さ、厳しさの3つでした。今までの何倍もの練習量、考えて書くということ、頑張った分だけ自信がもてるということなど、様々な面で良い経験となりました。

展示作品は素晴らしい作品ばかりで、とてもレベルが高く、私の知らない世界で生きている書が多数あり、改めて自分の未熟さと書の奥深さをひしひしと感じました。

ご指導して下さる先生方や支えて下さった人達がいることを忘れずに、全総文祭で感じたこと、吸収してきたことをバネとし、これから一生かけていろいろな書をゆっくり、そしてじっくり学び続けたいと思います。

写真部門

会場：かながわサイエンスパーク

宇部工業高等学校 電子機械科

2年 山村悠介

今回は、全国高等学校総合文化祭に出場できて、本当に嬉しく思いました。その当時、私がまさか全国大会に出場できるとは思ってもみなかつたからです。

高校に入学してまず考えたことは、部活動は何に入るかということでした。中学時代には卓球をしていましたが、高校では何か新しいことをしたいと思っていましたので写真部に入ることにしました。今までまったく考えもしなかった部に入部したのです。

最初のうちは、どのような活動をするかなどまったく何もわからず、とまどう毎日でしたが先輩方の熱い指導を受けているうちに写真というものが少しずつ分かってきました。そして、分かってくるとともに、写真というものの奥深さと、その写真というものの持つ大事さなどが分かってきました。そして写真というものに自分がとりつかれていくのが分かりました。

これまで写真は記念として撮るものだと思っていたが、それは違っていました。



写真は語ります

その人物の心を

その物の意味を

写真は伝えます

写真に込められたキモチヲ

喜びを 悲しみを

そして自分さえも気付かなかつた
オモイヲ

写真は刻みます

今という時間を

返ることのできない時間を

確かにあの時あったオモイヲ

そして写真はカギとなる

けっして忘れることのない思い出が
心のどこかでいつか開かれることを
待ち望む扉を開けるカギに

これが、今私が抱いている写真に対する思いです。そして、その思いを今回の写真に託しました。県の大会でその写真の評価がよかつたので、私としては全国でもそこそこの評価が得られるのではないかと思っていたのですが、そうはいきませんでした。

会場の写真を見て驚きました。さすがに全国大会と言うだけのことはありました。それらの写真はとてもすばらしいものでした。特に優秀賞の写真には本当に驚かされました。写真のバランスは完璧だし、見てもぜんぜん飽きることがありませんでした。自分もまだまだ勉強が足りないと改めて考えさせられました。

このたびは、惜しくも賞をいただくことはできませんでしたが、とてもいい勉強をさせていただいたので、満足しています。今回の経験を生かして、これからも更に努力していきます。

囲碁部門

会場：平塚総合体育館

理事長 井町頼信

(萩高等学校教諭)

団体戦は各都道府県から選抜された、男子2名女子1名計3名の混成チーム編成からなり、個人戦は男女各1名ずつが参加しました。

大会は2日間ですが、前夜祭が行われ、100人の高校生と10人くらいのプロの交流指導対局が行われました。加藤本因坊 小林泉美女流棋士など憧れのプロに会えて、誰もが興奮した事と思います。平塚市は木谷プロのおられた町ということで囲碁がとても盛んなようでした。



{ 昨年に引き続き、今年も個人戦で
活躍した貞政伸恵さん、手前左側 }

山口県からは、個人戦に大田晃司（防府高校）、貞政伸恵（宇部商業高校）、団体戦に吉津宏樹（萩高校）工藤正英（豊浦高校）荻恵里子（下関西高校）の5名が参加しました。

戦績は次の通りです。

<個人戦>

大田晃司 3勝3敗 18位

貞政伸恵 4勝2敗 13位

<団体戦>

吉津宏樹	---	
工藤正英	---	3勝3敗 22位
荻恵里子	---	

この個人戦と団体戦ですが、7月にある全国大会は、個人戦と団体戦が日時をずらして行われるので、一人の選手が両方へ出場することができます。しかし8月のこの全国大会は、個人戦と団体戦が同時展開で行われるので、一人の選手が両方へ出場することができません。従って一番強い選手を、個人戦で出すか、団体戦の大将で出すかは、各県によってまちまちです。山口県では、県内大会で優勝した選手は個人戦へ回すことにしています。

高校生はまだ未完成で荒削りなので、試合がひっくり返ることがしばしばありました。そして毎年思うのですが、投げっぷりがよいのも、ある種の感動を与えています。このように勝敗の行方だけでなく、交流を通じて人間としての幅の広がり、成長があるのが最大の収穫だと思います。何年後かの再会で又、心の通い合を続けていて下さい。



演劇部門

会場：グリーンホール相模大野

演劇部でよかったです

岩国総合高等学校 村田美保

中国発表会の審査発表で「最優秀賞、岩国総合高等学校」と言わされたときには、全国大会に出場できるという喜びよりも驚きのほうが大きかったのを覚えています。しかも、全国大会は翌年の8月です。実感はわいてきませんでした。しかし、時が経つにつれて喜びはプレッシャーとともに大きくなっていました。そして8月、私たちは全国大会を迎えたのです。

私は、「めろん」を1年以上演じ続けてきたことになります。本当に幸せなことだったと思います。どの大会でも、「この役を演じるのは最後かもしれない」と思って最高の演技ができるように努めてきました。全国大会では特にその気持ちが強かったのですが、それは私以外の役者やスタッフも同じだったと思います。

全国大会の期間中、いちばん驚いたことは、観客の多さです。全国大会の舞台を見るためには、往復はがきで整理券を取り寄せなければなりません。そうして整理券を手にしたたくさんの人たちが、少しでもいい席で舞台を見ようと朝早くから会場の外に列を作っていました。

「そこまでして見に来てくださっているんだ」と思うと、中国ブロック代表としての責任とプレッシャーを一段と強く感じました。不安と緊張が頭の中を駆けめぐっていましたが、「今まで休みなんかそっちのけで毎日毎日練習してきたんだから、気負うことは何もない。舞台を楽しもう」と思い、部員全員で力いっぱい全国大会の舞台に挑みました。

そして最終日、全ての学校の上演が終わり、審査発表のときが近づいてきました。部長と私は舞台の袖で発表を聞くこととなりました。最優秀校1校と優秀校3校は国立劇場での東京公演で上演することができます。「全国大会に出場することができたんだからいいよね」という気持ちと、「上位4校に入りたい！国立劇場で上演したい！！」という気持ちとが胸の中で交錯し、私の心臓は、周りの人たちに聞こえてい



るのではないかと心配になるくらいドキドキしていました。最優秀校は福島県立小名浜高等学校でした。続いて優秀校の発表です。「高橋幸雄作『めろん』を上演しました山口県立岩国総合高等学校——」眼の奥が熱くなって、今にも涙がこぼれ落ちそうでした。「日本中の高校演劇部の中で4本の指に入ることができたんだ」という思いよりも、「また『めろん』が上演できる！またこの役を演じられる！！」という思いのほうが強く、もう嬉しくて嬉しくてしかたがありませんでした。実は、上演中のハプニングのために、私は大事なシーンを思うように演じられないままに上演を終えていました。悔しくて終演後には楽屋で泣いていました。だから、もう一度この役で大きな舞台に立てるということが本当に嬉しく思えました。

3週間後、私達は国立劇場で最後の『めろん』を上演しました。泣いても笑ってもこれが最後、1年以上ともに歩んできたこの作品の総仕上げです。細かいことを言えば、「もう少しこうすればよかったかな」と思うところもありますが、全国大会の時とは違い、納得のいく舞台となりました。

演劇部に入ってから、何度も大きな壁にぶつかりました。何度も挫折しそうになりました。たくさんの汗や涙を流してきました。でも演劇が好きだから、舞台が好きだから、この部が好きだから、ここまで頑張ることができました。3年生の夏、あんなに大きな舞台で最後の上演をすることができて、本当に幸せでした。

『めろん』という台本に出会えたから、岩国総合演劇部にみんながいたから、そして、多くの方々が支え、励まして下さったからだと思っています。本当にありがとうございました。

放送部門

会場：川崎市教育文化会館

岩国高等学校

3年 牧田由美子

「あなたの朗読、とても良かったですよ…」
今でも鮮明に覚えている。この言葉を忘れる
ことは決してないだろう――

私にとって、放送部最後の大会、第26回全国
高校総合文化祭・神奈川県大会。

「最後」のもの、大会や試合等にかける気持
ちには特別なものがある。後がないという緊張
感からくる様々な感情。焦り、不安、期待、希
望など。その中でも、私は「雪辱」の気持ちが
強かった。

昨年の総合文化祭・福岡県大会、私は完全な
るスランプ状態に陥っていた。読めない。いく
ら練習しても、思い通りの朗読をすることがで
きない。混乱し、落ち込み、イライラする…。
“朗読”がどういうものなのか、考えられなか
った。結果は予想通り惨敗。惨敗と言っても、
入賞できなかったという意味だけではない。自
分自身に負けたのだ。納得のいく朗読ができな
かった、それだけのこと。だが私は、それが本
当に悔しかった。放送部に入って一年半、一体
何をしてきたのだろう、と。

「来年の総文では必ず打ち克とう。必ず納得
のいく朗読をして入賞しよう！」これは私自身
との約束だった。入賞自体にこだわっていたわ
けではない。納得のいく読みがしたい。皆にメ
ッセージを届けたい。一人でも多くの方に感動
を伝えたい。入賞はこれらをやり遂げることが
できたという“あかし”だと思っていたのだ。

約束を果たそうと必死にもがいている中で、
私はあることに気がついた。「技術の未熟さ故
に、技術ばかりに捕われていた自分」に。技術
に目を奪われ“人に伝える気持ち”がなおざり
になっていたのだ。巧い読み=伝わる読み、と
いうわけではないのに。

確かに技術も必要。けれど、技術は表面の装
飾にすぎないので。土台を美しく見せるための
もの。それを忘れて装飾ばかりに夢中になって
いると、他が目に入らなくなり、土台つまり何かを
“人に伝える気持ち”まで見失ってしまう。
また過剰な装飾は、土台の持つ本来の良さをも
覆い隠してしまう。そくならないためには、装
飾を施す前に土台をよく見つめることが必要だ。
自分の土台は一体どんなものなのか、どれくら
いの強さなのか。どの様にすれば土台の良さが
引きだせるのが……。そしてそれらをよく理解
し、心に留めた上で土台を基本に装飾を考える
のだ。どんな装飾が必要で、効果的なのか…。
どの様にすれば土台の良さが引き出せるのか…。
この様に、土台があることを大前提としていけ
ば、必ず人に伝わる良い作品に仕上がるだろう。

一あの約束から一年一。私はとても平静な氣
持ちでステージにいた。昨年のような迷いや動
搖はなかった。反対に、とても爽やかで晴れ晴
れした気持ちだった。「こんなにも沢山の人間に
聞いて貰えるんだ。少しでも多くの人にメッセージ
が届くといいな…。皆さん、私の朗読を聴
いて下さい！」

……終わっ…た…。何だか寂しい気もしたが

とても清々しく、全力でやり切ったという充実感・満足感で一杯だった。ただひとつの不安は皆に感動やメッセージを伝えることができたのかどうか…。私は心に残る小さな塊を抱えたまま、会場を後にした。

その時である。私は見知らぬ女性に声をかけられた。優しい笑みを浮かべて、ゆっくりとした穏やかな口調でその人は言った。

「お疲れ様でした。あなたの朗読、聴きましたよ。とても良かった…。本当に感動しました。これからも頑張って下さい。」

不安の塊を溶かし去ってくれたこの言葉、これを聞くうちに熱いモノが込み上げてきた。

「はい…ありがとうございます……。」

私は、こう答えるのが精一杯だった。いや、この言葉さえ最後まできちんと言えたかどうかは分からない。何の面識もない人が、私の朗読に耳を傾けてくれた。

そして、私のメッセージを何らかのカタチで受け取めてくれた。これを女性の言葉が教えてくれた。
…本当に嬉しかった。

それに、ずっと張りつめていた緊張から解放されたせいもあるのだろう。私は、目から溢れる涙を止めることができなかった。

私にとって最後の大会は、得るもの多き、とても素敵で、思い出深い大会となりました。自分との約束を果たして“あかし”を手に入れられたこと。人に伝えることの難しさ、素晴らしさ。メッセージ・感動が伝わった際の感激・喜び…。この大会で学んだことを胸に刻み、これから活動にも役立てていきたいと思っています。

終わりになりましたが、いつも丁寧に指導して下さった山口農業高校の青木先生、多大なる迷惑をおかけした顧問の大島先生・松村先生、暖かく見守って下さっていた先輩方、大変お世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。そして、一緒に頑張ってきた放送部のみんな、ありがとう。みんながいてくれたから、私は頑張れたんだよ。本当にありがとう。



将棋部門

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ

常任理事 岡 茂樹

(防府高等学校教諭)

第26回全国高等学校総合文化祭将棋部門が、8月8・9日の2日間、横浜市かながわ労働プラザを会場に行われた。結果は以下のとおりで、山口県の女子の出場は2回目。初戦では相手の無理攻めを堅実に受け、最後は緩めても勝ちの形勢だったが角捨てから玉を下段に落とし一間飛車で即詰め、第23回大会の佐竹典子（女子個人3位入賞）以来の見事な勝利だった。個人戦出場の2名共に1勝を挙げることが出来、思い出に残る大会となった。

＜男子団体＞ 宇部高等学校

（沖中洋介・山本 慎・刈谷吾有太）

二回戦 秋田南高等学校……負（1勝2敗）

＜男子個人＞

帽山大樹（防府高等学校3年）

一回戦 鈴木光武（清水工業高等学校）…勝

二回戦 井上慧一（甲府南高等学校）……負

＜女子個人＞

山田沙耶香（防府高等学校2年）

二回戦 桐生薰子（安積高等学校）……勝

三回戦 宮崎亜友美（新城高等学校）……負



防府高等学校

2年 山田沙耶香

全国規模の大会に出場したのも初めてなら、あんなに長く新幹線に乗って移動したのも初めてで、前日の夜は緊張して眠れないという下手な体験をし、その上、2・3日前からはストレスで体調を崩し、ご飯が食べられない最悪のコンディション。先生にも先輩にも多大な迷惑をかけてしまった。

全国大会初出場の私にとって、それは、緊張以外の何物でもない。対局が始まれば、今まで笑っていた人の顔が真剣になる。その中の私といえば、足は震えるし駒はうまく持てない、胃は痛いで、何をしに来たんだと自問していたよう思う。それでも、後から良い体験ができたと思えたのは、一勝出来た僅かな自信とハイレベルな対局を間近で観ることができた貴重な経験のおかげだろうか。

最後に、応援してくれた両親、先生、先輩、友人、大会開催に携わった全ての人々に感謝します。



山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧

(1)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏
1	安下庄		63				平7	平4平10		
2	久賀		63					平3	平10	
3	岩国									平1
4	岩国総合							平11		平1
5	岩国商業				平3				62※	
6	岩国工業							平2	平6平8	
7	坂上				63	平11		平5	平3	
8	広瀬			平14	63					
9	高森							平2		
10	柳井							平7	平11	
11	柳井商業							平11	平14	
12	柳井工業							平14	平1平4平11	
13	熊毛南	63						平6	平12	
14	田布施農業						分※	平3	平5	
15	田布施工業									
16	光	63						平8		
17	光丘							平8平11	平14	
18	熊毛北							平2平14	63平7	
19	下松	63				平12	平7	※		
20	華陵	63						平8	平1	
21	下松工業							平1		
22	徳山		定平4			定平10	定平8	※	平12	
23	徳山北		63					平4平11	平8	
24	徳山商業		平5	63					平3	
25	徳山工業								平4平7	平1
26	鹿野		平3			平10		平9	平1	
27	新南陽	63							平5平14	
28	南陽工業		平1					62		
29	佐波			63			平7			
30	防府									
31	防府西							平10		平1
32	防府商業		定63					平12	平6	平1
33	山口		定62				定※	平2		
34	山口中央	63	平12			平10	平13			
35	西京	62						平4	平7	
36	山口農業							平5	平3	
37	字部	63								
38	字部中央		定平1				定平14	平10	63	
39	字部西							平14	平10	
40	字部商業			63				62平6	平3	
41	字部工業		平13	平2				平8		
42	小野田		定63							
43	小野田工業		定63						平4	
44	厚狭			平1				※	平9	
45	美祢	62				平9		平4	平2	
46	大嶺			平4					63平13	
47	美祢工業							63	平10	

ピアノ……弘中孝

マリンバ……水野与旨久

フルート……西田直孝トリオ

トランペット…田宮堅二

胡弓……姜建華・楊寶元

尺八と琴……中村明一、八木美知依

オペレッタ…木月京子ひとりオペラ

交響楽団……山口県交響楽団

演劇……のんた・宇部芸術座・海峡座

金管合奏……東京金管五重奏団

打楽器……韓国の太鼓と踊り

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧

(2)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏
48	田 部							平1平13		
49	西 市							63		
50	豊 浦									
51	長 府									平1
52	下 関 西									
53	下 関 南									
54	下 関 第 一							平5		
55	下 関 中央工業							平12	平6	
56	下 関 工 業	62							平2	
57	響		平5					平1		
58	豊 北	62						平3	※	
59	日 置 農 業	63	平5			※	平9		平2平13	
60	大 津	63						平12	平5	
61	水 産							平12		
62	萩	63						平3	平6	
63	萩 商 業	63						平7	平2平12	
64	萩 工 業							平6	平4平9	
65	徳 佐			分 63				63平10	平13	
66	奈 古					平11		平1平9		
67	盲	63	平3				平8平10	平7	平1	
68	聾									
69	岩 国 養 護		平3平13						平10	
70	田 布 施 養 護		平6					62		
71	徳 山 養 護		平11	平1						
72	周 南 養 護		※							
73	防 府 養 護	62	平3	63	平12					
74	山 口 養 護							平14		
75	宇 部 養 護		63平5平14					平1平9		
76	下 関 養 護		平2平6							
77	豊 浦 養 護		平11				平13			
78	萩 養 護		平6							
79	下 関 商 業				定平14					
80	高 水								62	
81	柳 井 学 園			平6					63	
82	聖 光							平2		
83	山 口 県 桜 ケ 丘									
84	誠 英								平7平9	
85	多 ハ 良 学 園									
86	中 村 女 子	63						平2平5	平11	
87	野 田 学 園	63								
88	山 口 県 鴻 城							平10	平12※	
89	宇 部 鴻 城							平7	平9	
90	慶 進									
91	美 桃 中 央									
92	香 川							平1平5※	平11	
93	サ ピ エ ル									
94	早 鞠									
95	下 関 短期大学付属	62・63	平4				平7		平8	
96	長 門							平6		
97	萩 光 塩 学 院									

(注) <62～平14……実施年度><※印……平成15年度実施予定>

《自主事業》山口県交響楽団演奏会

熊毛北高等学校

1年 濱田小緒里

体育館中に響きわたる音、それは、一つ一つがはっきり聞こえる音と美しいハーモニーで包まれていました。

交響楽団の方々は、曲の間に楽器の紹介をしてくださいました。初めて見る楽器や見た事はあるけど、音を聞いた事がない楽器がありました。オーケストラなので弦楽器が多く強弱のつけ方がすごくきれいでした。コントラバスを一回転させる技には驚きました。リズム感もいるし、力もいると思うし、回す事で音が出て、その音を曲の中に取り入れてとても面白いやり方だなと思いました。

交響楽団の演奏を聞いて、本当に音楽が好きな人が集まっているのだなと思いました。それは、曲の中にも表現され、私達に伝わってきました。演奏している時の表情を見ると、私達の方まで楽しくなってきました。また、機会があれば聞いてみたいと思いました。



《自主事業》巡回演劇公演

柳井商業高等学校

1年 竹本 佑美

私は、今日初めて「劇団のんた」の演劇みました。その中で一番印象に残っていることは、検閲官が警察官の役を演じているところです。走り方がとてもおもしろかったのが印象に残りました。

座付き脚本家の椿一は、劇団員にいじめられたり、赤紙が送られてきたりして、とても辛い思いをしている

にも関わらず、一生懸命脚本を書いていました。そんな様子を私は見て、自分も、どんな辛いことや苦しいことがあっても最後まであきらめないでやり遂げることができるような人間になりたいと心から思いました。それと、この劇を見て、自分を信じることの大切さもよく分かりました。戦争のころのお話なので、少し悲しい感じのするお話かなと思っていたけど、検閲官と脚本家が楽しそうに作品作りをしているのを見て、私達も楽しい気分になることができました。もう、戦争のような忌わしい時代が絶対に来ないことを願っています。「劇団のんた」の皆様、今日は本当にありがとうございました。



《自主事業》水野与旨久マリンバコンサート

宇部養護学校

高等部 3年 岡田聖也

今日のマリンバコンサートは、とてもかんどうしました。またいつか聞きたいです。マリンバをえんそうしている水野与旨久さんは、とても上手でした。ぼくもクラシックの音楽は大好きです。曲の中のアメリカンパトロールと、いろいろな音楽を聞いてすごく楽しかったです。水野さんは、心の中にいろいろなメロディがはいっているようにみました。ぼくも世界にはいろいろな曲があるんだなと思いました。えんそうをしている水野さんのかおはかがやいてい



ました。ぼくはテレビを見るときも、クラシックの曲をえんそうをしているばんぐみを見ています。

《自主事業》姜建華・楊宝元デュオコンサート

生徒の感想をまとめてみました。

- 下関商業高校 定時制4年 角田祐子ほか3名
- 国が違うと音楽も楽器も違うんだなあ、ということに気付き興味がわきました。
- ふだん見慣れない楽器の演奏会ということで、最初は、面白いのかなあ、と思っていたが、いざ本番となると、いろいろな音も出るし、あっという間に時間が過ぎた。
- 知っている曲の演奏もあったので、楽しむことができた。不思議な感じのする音だった。
- 表情豊かに演奏をしていて面白かった。



《自主事業》ひとりオペラ(ベロだしチョンマ)

9月10日／宇部中央高等学校





第4回 高校生文芸道場中国大会 (山口大会)

11月8日／カリエンテ山口、中原中也記念館
県内及び中国地区各県より生徒191名、教職員74名参加



平成14年度「本物の舞台芸術体験事業」(学校公演) (追加公演)

東京演劇集団 風 ミュージカル「星の王子さま」

3/17(月) 高森高校
18(火) 熊毛北高校
19(水) 奈古高校



第17回全国高等学校文芸コンクール 受賞作品(山口県)

詩 部 門	優秀賞	県立柳井高等学校 3年 田中 幸恵	羽化
	入 選	県立防府高等学校 2年 池田 愛	MOTHER～太陽と向日葵～
	入 選	県立下松高等学校 1年 藤村 祐子	故郷
	入 選	県立長門高等学校 1年 船津 浩之	決心
小説部門	入 選	県立華陵高等学校 3年 山本佳由子	蒲公英
	入 選	県立岩国商業高等学校定時制 3年 岡田愛子	春の綿雪
文芸部誌	奨励賞	県立山口高等学校 文芸部	無蓋車

平成14年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告書】

月	日	事業	会場
4	11 17	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	10 14 17 23 26 28 29 29	平成13年度「高文連」発行 水野与旨久マリンバコンサート 水野与旨久マリンバコンサート 姜建華とシルクロードアンサンブル 県高校総合文化祭（将棋） 山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会 岩国市 宇部養護学校 広瀬高校 下関商業高校（定時制） 中国新聞山口支社 東京都フロラシオン青山 山口養護学校 宇部西高校
6	13 14~15 15	県高校総合文化祭総開会式 県高校総合文化祭（器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワリング） 県高校総合文化祭（日本音楽、吟詠劇詩舞）	下関市民会館 下関市民会館 アクティブやない
7	4	中国地区高文連関係者合同会議	島根県松江市
8	6~10 7~11 8 31~9.1	全国高校総合文化祭 第13回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 神奈川県 神奈川県 東京都 国立劇場
9	10	ひとりオペラ「ペロだしチョンマ」	宇部中央高校（定時制）
10	22 26~27 27 29	巡回演劇「劇団のんた」 県高校総合文化祭（演劇） 県高校総合文化祭（囃碁） 巡回演劇「劇団海峡座」	柳井商業高校 山口南総合センター 萩高校 新南陽高校
11	3 8 8 8 15~17 23~24 27	県高校総合文化祭（放送） 第4回高校生芸道場 中国ブロック大会 山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭（美術・工芸、書道、写真） 第40回中国地区高等学校演劇発表会	ニューメディアプラザ山口 山口市 柳井工業高校 熊毛北高校 シンフォニア岩国 宇部市渡辺翁記念会館 山口中央高校
12	16 21	巡回演劇「宇部芸術座」 第4回高校生芸道場総合大会	光丘高校 東京都
1	(上旬) 30~31	平成14年度「高文連会報」発行	富山市
2	4 6~8 10 21	第11回全国高等学校文化連盟 将棋新人大会	東京都フロラシオン青山 千葉県 山口中央高校 山口中央高校
3	3 17 18 19 27	本物の舞台芸術体験事業（ミュージカル） 本物の舞台芸術体験事業（ミュージカル） 本物の舞台芸術体験事業（ミュージカル） 第22回器楽管弦楽スプリングコンサート	中国地区 高(芸)文連実務担当者会議 島根県松江市 高森高校 熊毛北高校 奈古高校 山口南総合センター
【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会 総合開会式・音楽関係4部門（下関第一高校） 展示関係3部門（岩国工業高校） 日本音楽・吟詠劇詩舞部門（柳井高校） 演劇部門（防府商業高校） 囃碁部門（萩高校） 放送部門（山口農業高校） 将棋部門（宇部高校）主管校において開催			
各専門部会.....部会長校を中心に開催 各専門部研修会.....県下各地において開催			

山口県高等学校文化連盟 【共催】 第6回やまぐち県民文化祭／第41回山口県吹奏楽コンクール
第6回やまぐち県民文化祭／第57回合唱コンクール山口県大会
第26回アンサンブルコンテスト山口県大会
【後援】 第8回山口県盲・聾・養護学校文化祭美術作品展
第15回全日本マーチングフェスティバル山口県大会

平成14年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	決算額	増減(△減)	摘要
繰越金	4,953,009	4,953,009	0	
会費	16,199,000	16,014,800	△ 184,200	
(内訳)	15,995,000 75,000 129,000	15,817,550 71,450 125,800	△ 177,450 △ 3,550 △ 3,200	全日制 350円×45,193人 定時制・盲・聾・養... 50円× 1,429人 学校負担金 100円×1,258学級
補助金	5,595,000	5,895,000	300,000	
(内訳)	1,335,000 300,000 3,960,000 0	1,335,000 200,000 3,960,000 400,000	0 △ 100,000 0 400,000	県総文祭県補助金 下関市補助金 全総文補助金 中国文芸道場補助金 県・市・教育財団
調整基金から繰入	0	0	0	
雑収入	12,991	4,424	△ 8,567	利息
合計	26,760,000	26,867,233	107,233	

(支出の部)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運営費	1,087,600	1,030,437	57,163	
(内訳)				
事務用品費	220,000	162,089	57,911	事務用品、写真、事務機器維持費等
通信費	380,000	380,748	△ 748	電話、郵便 運送料等
分担金	487,600	487,600	0	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会議費	1,900,000	1,820,564	79,436	県内・全国会議、研究大会、事務局旅費
事業費	21,528,540	18,817,233	2,711,307	
(内訳)				
県総文祭	8,483,540	7,340,083	1,143,457	総合開会式 各部門大会開催費（別紙）
全総文祭	7,266,000	6,092,986	1,173,014	生徒旅費361万 引率旅費162万 運送費86万
自主事業	2,394,000	2,394,000	0	11公演
大会補助金	450,000	460,377	△ 10,377	特殊教育5万 演劇中国20万 文芸道場21万
専門部会費	1,685,000	1,335,937	349,063	研修費 通信費
印刷費	1,250,000	1,193,850	56,150	高文連集録 高文連会報 県総文祭ポスター
調整基金	0	0	0	
予備費	2,243,860	528,940	1,714,920	事務機器、文芸コンクール、文芸道場立替
合計	26,760,000	22,197,174	4,562,826	

※ (収入) 26,867,233円 - (支出) 22,197,174円 = (繰越) 4,670,059円

平成14年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計から繰入	今年度末現在高
13,000,000	0	13,000,000

上記の通り相違ありません。

平成15年4月10日

監事

監事

田中 浩司
伊村 行宣

平成15年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画書】

月	日	事業	会場	
4	10 16	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校	
5	9 13 (中旬) 23 24~25 27 28	水野与旨久マリンバコンサート 平成14年度「高文連」発行 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭（将棋） 山口県交響楽団演奏会	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会	萩市 周南養護学校 厚狭高校 防府市文化福祉会館 東京都フロラシオン青山 香川高校
6	12 13~14 14 27 (下旬)	県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭（器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワリング） 県高校総合文化祭（日本音楽、吟詠劇詩舞） となりの国の打楽器と踊り	第13回中国地区高文連関係者合同会議	シンフォニア岩国 シンフォニア岩国 光市民ホール 日置農業高校 鳥取県
7	16	巡回演劇「劇団海峡座」	豊北高校	
8	7~11 8~12 9 30~31	全国高等学校総合文化祭 第14回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	福井県 福井県 福井市 東京都 国立劇場
9	3 8	ひとりオペラ「ベロだしチョンマ」 ひとりオペラ「ベロだしチョンマ」		山口高校（定時制） 田布施農業高校（大島分校）
10	1 1 15 17 23 25~26 26	山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 巡回演劇「劇団のんた」 本物の舞台芸術体験事業（文楽） 本物の舞台芸術体験事業（管弦楽） 県高校総合文化祭（演劇） 県高校総合文化祭（囲碁）		徳山高校 下松高校 岩国商業高校 柳井高校 聖光高校 シンフォニア岩国 宇部高校
11	2 4 5 7~9 (上旬)	県高校総合文化祭（放送） 巡回演劇「宇部芸術座」 第5回高校生文芸道場 中国ブロック大会 県高校総合文化祭（美術・工芸、書道、写真）	第1回高文連理事長会	ニューメディアプラザ山口 山口県鴻城高校 米子市 周南市美術博物館 山口中央高校
12	(中旬) 20	平成15年度「高文連会報」発行 第5回高校生文芸道場総合大会		東京都
1	22~23 23		第15回全国高文連研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	広島市 広島市
2	5 (上旬) 13~15 (下旬)	第12回全国高等学校文化連盟 将棋新人大会	社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連理事長会 第2回高文連企画運営委員会	東京都フロラシオン青山 山口中央高校 広島市 山口中央高校
3	(上旬) (下旬)	第23回器楽管弦楽スプリングコンサート	第2回中国地区高文連実務担当者会議	鳥取県 防府市
【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会				
総合開会式・音楽関係4部門（岩国総合高校）				
展示関係3部門（徳山高校）				
日本音楽・吟詠劇詩舞部門（聖光高校）				
演劇部門（岩国高校）				
囲碁部門（宇部高校）				
放送部門（岩国高校）				
将棋部門（宇部高校）				
各専門部会				
各専門部研修会				

【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会

　　総合開会式・音楽関係4部門（岩国総合高校）

　　展示関係3部門（徳山高校）

　　日本音楽・吟詠劇詩舞部門（聖光高校）

　　演劇部門（岩国高校）

　　囲碁部門（宇部高校）

　　放送部門（岩国高校）

　　将棋部門（宇部高校）

.....主管校において開催予定

.....部会長校を中心に開催予定

.....県下各地において開催予定

平成15年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	前年度予算額	増減(△減)	摘要
繰越金	4,670,059	4,953,009	△ 282,950	
会費	15,448,750	16,199,000	△ 710,250	
(内訳)	15,295,000 70,750 123,000	15,995,000 75,000 129,000	△ 700,000 △ 4,250 △ 6,000	全日制 350円×43,700人 定時制・盲・聾・養... 50円× 1,415人 学校負担金 100円×1,230学級
補助金	4,704,000	5,595,000	△ 891,000	
(内訳)	1,202,000 100,000 3,402,000	1,335,000 300,000 3,960,000	△ 133,000 △ 200,000 △ 558,000	県総文祭県補助金 岩国市補助金 全総文補助金
調整基金から繰入	0	0	0	
雑収入	5,191	12,991	△ 7,800	利息
合計	24,868,000	26,760,000	△ 1,892,000	

(支出の部)

区分	予算額	前年度予算額	増減(△減)	摘要
[運営費]	1,107,600	1,087,600	20,000	
(内訳)				
事務用品費	220,000	220,000	0	事務用品、写真、事務機器維持費
通信費	400,000	380,000	20,000	電話、郵便、運送料等
分担金	487,600	487,600	0	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
[会議費]	1,900,000	1,900,000	0	県内、全国会議、研究大会、事務局旅費
[事業費]	20,232,450	21,528,540	△ 1,296,090	
(内訳)				
県総文祭	8,490,620	8,483,540	7,080	総合開会式 各部門大会開催費（別紙）
全総文祭	6,162,830	7,266,000	△ 1,103,170	生徒旅費355万 引率旅費196万 運送費65万
自主事業	2,394,000	2,394,000	0	11公演
大会補助金	50,000	450,000	△ 400,000	特殊教育
専門部会費	1,885,000	1,685,000	200,000	研修費 通信費
印刷費	1,250,000	1,250,000	0	高文連集録 会報 県総文祭ポスター
[調整基金]	0	0	0	
[予備費]	1,627,950	2,243,860	△ 615,910	事務機器 文芸コンクール
合計	24,868,000	26,760,000	△ 1,892,000	

平成15年度 調整基金会計予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計から繰入	今年度末残高
13,000,000	0	13,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

第 1 章 総 則

平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正

(名称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校並びに高等部を設置している盲学校、聾学校及び養護学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトンツワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|---------------|----------------|
| (1) 会長 1人 | (4) 支部長 7人 |
| (2) 副会長 若干人 | (5) 専門部会長 14人 |
| (3) 評議員 95人以上 | (6) 専門部理事長 14人 |
| （会長及び副会長を含む。） | (7) 監事 2人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。

(4) 監事は、評議員の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは又は会長が欠けたときはその職務を行う。

(3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。

(4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。

(5) 監事は、会計を監査する。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在籍する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを召集する。

(1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会

2 会議の議長は、会長がこれに当たる。

3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる重要な事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 評議員から委任された事項 (2) 会議の運営及び執行に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項

2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。

3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。

4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雜 則

この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟 諸規程

「会計規定」

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月11日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

第7条 この規程の執行に関する必要な事項は、会長が定める。

附 目

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規定]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 総務係
イ 庶務係
ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[表彰規定]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月11日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数300名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文科活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の受賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定

昭和63年4月25日改正

平成元年4月1日改正

平成11年4月1日改正

平成13年4月1日改正

1 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

✓ 2 県総文の運営に関する旅費は、依託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
ただし、その際の役員日当は1,700円とし、宿泊費は5,000円（打切り）とする。

3 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。
〔生徒は〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。
※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）
※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）〕

4 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会（顧問会議、支部長会議等）を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するようお願いする。

平成14年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

平成15年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名			支部・専門部						所属校		
会長	山賀	正彦	彦等							山口	中央高	校
副会長	斎藤	田光	邦二							岩国	高	校
内水	田田	洋	二							下関	西高	校
水	斎鬼	村悦	男壽	柳國	井支	支	部	部	部	岩国	高	校
支部長	齊藤	忠正	彦明	徳山	山防	支	部	部	部	柳井	高	校
内水	山賀	俊俊	夫範	山字	山防	支	部	部	部	柳山	高	校
水	兼村	日出	昌範	下長	山字	支	部	部	部	中部	中南	校
支部長	藤本	昌	範	長	下長	支	部	部	部	下萩	南高	校
支部長	西村	靖日	昭夫	演劇	劇部	門	門	門	門	山口	鴻城高	校
支部長	藤城	中昌	夫範	器樂	管弦樂	門	門	門	門	下萩	南高	校
支部長	内木	赴トモ	臣コ晋	合奏	唱樂	門	門	門	門	岩佐	商業高	校
支部長	(島藤	休	吹奏	マーチングバンド	門	門	門	門	田布施	農業高	校
支部長	田伊	東石	勝孝	日本音樂	バンド	門	門	門	門	(宇田)	商業高	校
支部長	金兼	藤石	重俊	吟詠	マーチングパーカー	門	門	門	門	防府	高	校
支部長	兼斎	藤石	俊昌	美術	詩舞	門	門	門	門	光宇	高	校
支部長	兼藤	本	範	書写	歌舞	門	門	門	門	岩宇	高	校
支部長	村岡	圭幸	吾生子	演劇	劇部	門	門	門	門	山口	鴻城高	校
支部長	飯有	富本	子途	器樂	管弦樂	門	門	門	門	下萩	南高	校
支部長	藤熊	野本	政美	合唱	唱樂	門	門	門	門	岩佐	商業高	校
支部長	宮(古)	睦部	睦	吹奏	マーチングパーカー	門	門	門	門	田布施	農業高	校
支部長	守大	休賀	隆由	日本音樂	バンド	門	門	門	門	(宇田)	商業高	校
支部長	弘西	富田	幸正	吟詠	マーチングパーカー	門	門	門	門	防府	高	校
支部長	中古	島申	信敏	美術	詩舞	門	門	門	門	光宇	高	校
支部長	野柴	竹川	志子	書写	歌舞	門	門	門	門	岩宇	高	校
支部長	村新	豊	之子	圓放	歌舞	門	門	門	門	山口	中央高	校
支部長	村豊	利佳	子	將文	芸	門	門	門	門	山口	中央高	校
監事	中野	行村	宣							防府	商業高	校
監事	中嶺	中正	太郎							西京	高	校
事務局長	角柴	比伸	古芳子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	眞利	利子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	真利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	伸眞	利子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子							山口	中央高	校
事務局長	新竹	利	子							山口	中央高	校
事務局長	豊川	利	子							山口	中央高	校
事務局長	中嶺	利	子									

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向川栄美作詞
乗松美紀作曲



1. てをのばせばほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ 一ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだそう
は ひとりじゃない さあ は さばたこ う



ほくらのぶんかを つくるため 一に
ほくらのぶんかを きずくため 一に

二、呼びかけば ほら
きっと誰かが応えてくれる
心を開けば ほら
仲間はいつでも待っている
君は一人じゃない
さあ 翔こう
僕等の文化を築くために

一、手を伸ばせば ほら
きっと誰かが支えてくれる
見渡せば ほら
仲間がいつでもそばにいる
君は一人じゃない
さあ 歩きだそう
僕等の文化を創るために

全国高文連の歌

山口県高等学校文化連盟

「高文連」編集委員

(各部門)

合 唱	有 富 美 子	(県立萩高等学校)
マーチングバンド パトントワリング	松 浦 真 実	(県立佐波高等学校)
器楽・管弦楽	飯 田 幸 生	(県立下関南高等学校)
吹 奏 楽	藤 本 博 途	(県立岩国商業高等学校)
演 劇	村 岡 圭 吾	(山口県鴻城高等学校)
日 本 音 楽	原 田 江 里 子	(県立大嶺高等学校)
美 術 ・ 工 芸	平 田 博 英	(県立岩国工業高等学校)
書 道	有 富 由 美	(県立防府高等学校)
写 真	佃 幸 繁	(県立光高等学校)
囲 碁	井 町 賴 信	(県立萩高等学校)
将 棋	弘 中 敏 之	(県立宇部高等学校)
放 送	青 木 幸 子	(県立山口農業高等学校)

(事務局)

事 務 局 長	角 中 悅 太 郎	(県立山口中央高等学校)
総 務	柴 崎 正 比 古	()
庶 務	新 竹 伸 芳	()
会 計	豊 川 真 利 子	()

平成14年度

山口県高等学校文化連盟集録

「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局

〒753-0043 山口市宮島町6-1

山口県立山口中央高等学校内

電話 083-932-0818

FAX 083-932-0813

表紙デザイン／益本かおり（山口中央高校2年）

